

# トラック あいち

第532号

2020 (令和2) • 7

一般社団法人  
愛知県トラック協会

全員で参加しよう!  
目指せ! 違反ゼロ!

1 運転中  
ながらスマホ禁止!

2 しない・させない  
飲酒運転!

3 必ず着用しよう  
シートベルト!

2019 トラック・セーフティ・ラリー  
7/1(月) ▶ 12/31(火)

SPEED  
DOWN!  
ゆっくり走ろう!

(主催) 一般社団法人愛知県トラック協会 (後援) 国土交通省/中部運輸局/愛知県警本部/自動車安全運転センター 愛知県事務所/財団法人愛知県交通安全協会/中部交通共済協同組合



一般社団法人  
**愛知県トラック協会**

# CONTENTS

2020年6月  
第532号

- ◆ 第1回 理事会  
第2回 常任理事会 …… 1
- ◆ 第14回 通常総会 …… 32
- ◆ おめでとうございます!! … 39  
令和元年度交通安全表彰受賞者の皆さま
- ◆ 業務中における交通死亡事故の  
連続発生に伴う注意喚起について … 53
- ◆ (公社)全日本トラック協会  
ドライバー等安全教育訓練  
助成制度のご案内 … 54
- ◆ ドライバー基本研修 …… 55
- ◆ 改善活動等リーダー養成研修 … 56
- ◆ コミュニケーション能力向上研修 … 57
- ◆ 支部だより …… 58
- ◆ 業務課からのお知らせ …… 59
- ◆ 軽油価格調査 …… 60
- ◆ 一般貨物自動車の  
増減車動向について …… 61
- ◆ 委員会・部会活動状況 …… 62
- ◆ 支部行事 …… 63
- ◆ 青年部会 …… 64  
青年部会第23回通常総会を開催  
8月の活動予定
- ◆ 女性部会のご案内 …… 65
- ◆ 陸 災 防 …… 22  
令和2年度の熱中症予防行動

# 第 1 回 理 事 会

# 第 3 回 常 任 理 事 会

新型コロナウイルス感染防止の観点から書面会議によるみなし決議にて成立した

理事会の決議があったものとみなされた日 令和2年6月4日  
理事会の決議があったものとみなされた事項の提案をした理事 理事 寺岡 洋一  
議事録の作成に係る職務を行った理事 理事 牟田 光良

## (決 議 事 項)

### 1、総務委員会からの答申について

資料『総審議1』『総審議2』、『審議1(3)①-④』、『資料1-(4)』、『資料1-(5)』について記載のとおり原案が承認された。

#### 1. 近代化基金運営専門委員会からの答申について

第49回 近代化基金融資申込みについて

5月 — 1件 10,780千円 —

第10回 ポスト新長期規制適合車導入等に係る近代化基金融資申込みについて

5月 — 24件 462,440千円 —

#### 2. 令和元年度事業報告(案)について

※別添「審議1-2」参照

#### 3. 令和元年度財務諸表(案)及び公益目的支出計画実施報告(案)について

※別添「審議1-(3)①-④」参照

#### 4. 定款変更(案)について

※別添「資料1-(4)」参照

#### 5. 第14回通常総会提出議案について

※別添「資料1-(5)」参照

### 2、理事の変更選任について

資料『審議2』記載のとおり原案が承認された。

支 部	新			旧		
	氏 名	役 職 名	会 社 名	氏 名	役 職 名	会 社 名
	安藤 定一	理 事	愛知県トラック協会	石田 裕則	理 事	愛知県トラック協会

## (報 告 事 項)

### 1、施設運営基金及び施設運営積立金運用実績報告について

資料『報告1』のとおり報告した。

#### 【概要】

令和元年度は、長期改修計画に基づき交付金事業により施設運営基金として12,000万円、自主財源により施設運営基金積立金として1,200万円造成した。

令和2年3月31日現在の施設運営基金残高は、前期比12,971万円増の72,713万円となった。

総

審議 2

令和元年度

# 事業報告書

平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで

## ◎主な事業活動

### 1. 研修センターで実施する人材育成・教育事業

会員事業者からの要望に応えるため、ドライバー、事務職員、管理職等のそれぞれの職種に合わせた研修カリキュラムの充実を図り利用促進に努めた。

#### (1) 研修事業

- ◇乗務員対象研修
  - ・ドライバー座学研修 9 回 66 名
  - ・乗務員研修 (ドライバー運転1日、添乗指導者養成他) 68 回 681 名
  - ・初任ドライバー・適齢ドライバー研修 18 回 140 名
- ◇事務職・管理職対象研修
  - ・管理者研修 3 回 92 名
  - ・事務職研修 5 回 102 名
- ◇経営者・管理者・指導者対象研修 67 名
  - ・第 27 期 物流大学校講座 (全ト協認定 物流経営士 1,475 名 センター受講分) 49 名
  - ・第 23 期 物流安全管理士講座 (物流安全管理士 674 名) 2 回 5 名
  - ・物流安全大学校講座 -特別受講- 6 回 391 名
- ◇資格取得研修
  - ・運行管理者試験対策研修 6 回 391 名
  - ◇会員独自の研修会等の開催支援 (カスタマイズ研修)
    - ・研修・講習・ドライバーコンテスト等 58 社

#### (2) 運転適性診断事業

- ◇義務診断
  - ・初任診断 71 回 482 名
  - ・適齢診断 34 回 173 名

#### (3) 運行管理に関する講習事業

- ◇基礎講習 4 回 285 名
- ◇一般講習 4 回 427 名

#### (4) 届出自動車教習所事業

- ◇入所者数及び免許取得者 (令和 2 年 3 月 31 日現在) 入所者数 2 名 (準中型 5 t 限定解除)

#### (5) その他研修センターの活用

- ◇会員の利用 102 回
- ◇他県トラック協会の利用 3 県 4 回
- ◇他団体等の利用 87 回

一般社団法人 愛知県トラック協会

(6) 研修センター総来場者数 ((1) から (5) を含む) 約 21,500 人

2. 経営支援事業

働き方改革の実現に向けて「生産性の向上」「運送事業者の経営改善」「適正取引の推進」について会員事業者の支援に努めた。

(1) 適正取引の推進

◇ 原価計算活用セミナー 参加者 78 名

(2) 経営支援に係る助成

① 交付金及び近代化基金果実による利子補給

◇ 近代化基金融資及び利子補給  
・ 融資推薦

一般融資  
ポスト新長期適合車融資  
・ 利子補給額 (全ト協負担分を含む)  
② 信用保証料の助成

(3) 各種講習等に係る助成

① 中小企業大学校受講  
② 各種技能講習受講助成  
③ 準中型・中型・大型・牽引等免許取得助成

(4) セミナーの開催

① 生産性向上セミナー (R1.10.29) 参加者 166 名  
② 経営革新セミナー (第1回) (R1.8.29) 参加者 92 名  
③ 経営革新セミナー (第2回) (R2.2.17) 参加者 151 名  
④ 中小トック運送事業者のための IT 活用セミナー (R2.2.4) 参加者 43 名  
⑤ 支部セミナー (開催 8 支部 18 回)

3. 交通安全・環境対策事業

《交通安全対策》

「トトラック事業における総合安全プラン2020」の目標達成のため、各種啓発活動をはじめとした諸対策を推進するとともに、事故防止と輸送の安心・安全確保のため、各種助成事業並びに交通事故防止セミナーを積極的に取り組んだ。

(1) 交通事故抑制止活動の推進

◇ 愛ト協数値目標 ※ 国土交通省「事業用自動車総合安全プラン2020」

- ・ 交通事故死者数 7 人以下
- ・ 飲酒運転ゼロ
- ・ 危険ドラッグ等薬物使用による運行の絶無

〔愛知県内における交通死亡事故発生状況〕

	2019年(1~12月)		2018年(1~12月)	
	発生数	156 名	発生数	189 名
事業用貨物	29 名	29 名	28 件	28 名
会員第一原因	6 件	6 名	9 件	9 名

① 「トトラック・セーフティ・ラリー」の実施 (R1.7~12)

◇ 参加チーム: 12,546 チーム (1,288 社)

参加地区	計	第一	第二	第三	第四	尾東	尾西	知多	西三	東三	事務局
参加人数	1,298	121	111	128	94	196	213	112	197	116	
チーム数	12,546	1,879	971	882	796	1,424	1,941	643	3,149	848	13
参加人数	63,432	9,455	4,898	4,468	4,016	7,204	9,788	3,298	15,870	4,310	67
運転チーム数	9,821	1,490	712	685	554	1,042	1,441	482	2,553	652	10
達成率	76.7%	73.3%	73.3%	77.7%	69.6%	73.2%	74.2%	75.0%	81.1%	76.3%	76.9%
交通事故	死亡	重傷	軽傷	物損	計						
件数	1	8	247	16	272						
交通違反	飲酒等	シートベルト	携帯電話	信号無視	速度超過	一時停止	駐車違反	歩行妨害	その他	計	
件数	6	393	524	526	288	82	569	80	148	606	3,202
(前年比)	8	446	565	600	265	59	441	77	166	557	3,184

〈表 彰〉

- ・ 中部運輸局長表彰
- ・ 西三支部
- ・ 愛知県警察本部交通部長・愛ト協会長連名表彰
  - \* 名古屋第一支部
  - (名古屋第二支部)
  - (名古屋第三支部)
  - (名古屋第四支部)
- ・ 中部運輸局長表彰
  - \* 西三支部
  - (名古屋第一支部)
  - (名古屋第二支部)
  - (名古屋第三支部)
  - (名古屋第四支部)
- ・ 愛知県警察本部交通部長・愛ト協会長連名表彰
  - \* 名古屋第一支部
  - (名古屋第二支部)
  - (名古屋第三支部)
  - (名古屋第四支部)
- ・ 愛知県警察本部交通部長・愛ト協会長連名表彰
  - \* 名古屋第一支部
  - (名古屋第二支部)
  - (名古屋第三支部)
  - (名古屋第四支部)
- ・ 愛知県警察本部交通部長・愛ト協会長連名表彰
  - \* 名古屋第一支部
  - (名古屋第二支部)
  - (名古屋第三支部)
  - (名古屋第四支部)
- ・ 愛知県警察本部交通部長・愛ト協会長連名表彰
  - \* 名古屋第一支部
  - (名古屋第二支部)
  - (名古屋第三支部)
  - (名古屋第四支部)

- (3) 安心・安全を支援する事業の実施
- ①EMS機器 2,559基
  - ②運行管理（ドライブレコーダー）支援機器 3,593基
  - ③ASV装置 326基
    - ・衝突被害軽減ブレーキ装置等
  - ④安全装置 1,156基
    - ・後方視野確認支援装置 67基
    - ・追突防止装置 3基
    - ・高度点呼時運用管理機器（IT点呼） 59基（愛知）
    - ・血圧計機器 [853基（全国）]
  - ⑤自動車事故対策機構/ヤマトスタッフサブライ
    - ・運行管理者一般講習受講 3,362名
    - ・運転適性診断受診（初任・適齢） 9,994名
    - ・運輸安全マネジメント講習会受講 50名
  - ⑥自動車安全運転センター 運転記録証明書等の取得（TSR分のみ）
- (4) トラックドライバーの輸送の安全に対する意識の向上策
- ◇第51回愛ト協トラックドライバーコンテストの開催（R1.9） 出場者 79名
  - 【愛ト協】
    - 大型部門 優勝 日本通運(株)中部警送支店 萩 裕之
    - 中型部門 優勝 カリソ(株)刈谷北営業所 坪中貴之
    - 7位 鳴海急送(株)愛知営業所 神谷江美
    - ※ 全国ドライバーコンテストの女性部門に推薦
    - トレーラー部門 優勝 日通名古屋運輸(株)コンテナ営業所 内田直樹
  - 【全 国】（R1.10）
    - 第51回全国トラックドライバー・コンテストへの出場 11ト、4ト、トレーラー、女性の各部門へ4名が出場
- (5) 関係機関との連携・協力
- ①陸運労働災害防止協会愛知県支部
  - ②愛知県交通安全推進協議会
  - ③愛知県高速道路交通安全協議会
  - ④愛知県交通安全協会・県下各警察署単位の交通安全組織
  - ⑤愛知県自動車会議所を中心とする自動車関係団体
  - ⑥大型車通行適正化に向けた中部地方連絡協議会
- 《環境対策》  
環境にやさしいトラック輸送を目指し、エコドライブの推進や先進環境対応型ディーゼル車（低公害車両）の普及等の環境対策に努めた。

- \* 尾東支部 興隆運輸(株)、名備運輸(株)、亀甲通運(株)
  - \* 尾西支部 (株)ジャパンライン、濱鳴運輸(株)、中日本倉庫(株)
  - \* 知多支部 (株)丸田運送店、園田運送(株)、(株)セイリョウライン
  - \* 西三支部 丸九重機運輸(株)、宮崎運輸(株)、新英運輸(株)
  - \* 東三支部 イノチオ物流(株)、(株)陸運送、(株)伊藤運送
- ②トラック安全デー活動等の推進
- ・各支部における交通安全運動の展開 164回
  - ・各支部における交通安全講習会の開催 45回
  - ・愛知県高速道路交通安全協議会が行う交通安全活動に参加 4回
  - ・スピードダウン！ゆっくり走ろう！運動の展開
  - 車外用ステッカーの配布
  - 啓発用のぼり旗の配布
- ③事故防止セミナー・研修会の実施
- ・運輸安全マネジメント認定セミナー 参加者 127名
  - ・輸送の安全・働き方改革セミナー 参加者 104名
  - ・運輸安全マネジメント入門編セミナー 参加者 53名
  - ・トレーラーの適正な使用等に係る研修 参加者 59名
  - ・特車講習会 参加者 143名
  - ・事故原因分析スキルアップ研修 参加者 111名
  - ・トラック重大事故対策セミナー 参加者 99名
- ④安全教育に対する支援等  
ホームページに公開しているドライバー向け交通事故防止研修コンテンツ（eラーニング）を会員に展開した。
- (2) 「交通安全表彰」の実施（表彰対象年度 30年度）
- ①交通安全功労会員表彰 57社
  - ②交通安全特別賞（10年間無事故継続） 9社
  - ③交通安全金 賞（7年間無事故継続） 14社
  - ④交通安全銀 賞（5年間無事故継続） 23社
  - ⑤交通安全銅 賞（3年間無事故継続） 28社
  - ⑥1年間無事故認定 237社

#### (1) 自動車交通環境改善への対応

- ①第8回省エネ走行競技会 (R1.10) 台風の影響により中止
- ②低公害車導入促進助成  
・天然ガス自動車  
・ハイブリッド自動車
- ③グリーン経営認証取得の促進  
・グリーン経営講習会 (参加42社44名)  
・グリーン経営認証取得助成 (新規:3社 更新:41社)
- ④アイドリングストップ支援機器

11台  
63台  
  
46基

#### (2) 関係機関との連携強化

- ①あいち自動車環境戦略会議
- ②名古屋市自動車公害対策推進協議会

#### 4. 適正化事業

貨物自動車運送事業法をはじめとする、関係法令の改正等の周知・対応等に重点を置き巡回指導を実施した。また、法令遵守等の一助となるセミナー・研修会等を開催した。

#### (1) 適正化事業の推進

- ①巡回指導
  - ◇通常巡回 937事業所
  - ◇新規巡回 153事業所
  - ◇特別巡回 25事業所
  - ◇集合指導 (霊柩事業者8、急便事業者1)
- ※通常・新規巡回評価内訳
  - A評価 764件/B評価 212件/C評価 93件/D評価 11件/
  - E評価 10件/その他評価 34件
- ②法令遵守体制の構築支援

輸送の安全を確保するための「運輸安全マネジメント」の実施公表で使用する「視示用ポスター」、「国土交通省告示1366号教育指導マニュアル」や「巡回指導項目自主点検チェックシート」「参考事例・解説集」ほか、各種リーフレットの作成・配布

- ③法令遵守等のセミナーの開催 (6回)
  - ・厚生労働省の実施する助成事業の説明会 297事業所 379名
  - ・時間外労働の上限規制及び36協定に関する説明会 (同内容を5回) 215事業所 250名

#### (2) フォローアップ体制の強化

- ◇改善基準告示研修会 (3回) 148事業所 184名
- ◇フォローアップ研修会 (3回) 80事業所 95名

・7・

#### (3) 新規事業者等に対する法令遵守の推進

- ◇新規事業者講習会 41事業所 57名
- ◇霊柩事業者対象研修会 48事業所 57名

#### (4) 指導員の資質向上及び各組織との連携

- ◇愛知県貨物自動車運送適正化事業実施機関評議委員会 1回
- ◇中部ブロック適正化事業連絡会議 2回
- ◇中部ブロック適正化機関と中部運輸局連携会議 1回
- ◇行政関係機関等の連絡会議 11回
- ◇労働局との合同による巡回指導 16回
- ◇全国貨物自動車運送適正化事業実施機関研修会 (初級研修、専門研修、特別研修、スキルアップ研修) 4回

#### (5) 安全性評価事業 (Gマーク) の認定に向けた支援

- ◇認定事業者数 428事業者 604事業所
- (県内認定総数:4,404事業所中1,737事業所認定/認定率39.4%)
- ◇地域別申請説明会の開催 5回 217事業者 303名
- ◇新規認定取得に向けた研修会の開催 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

#### (6) 輸送秩序確立に向けての推進活動

- ◇社会保険等の未加入事業者特別講習会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

#### (7) 自動車運送事業のホワイト経営に取組む事業者を認定する「運転者職場環境良好度認証制度」の周知

- ◇新設された制度の説明会の開催 256事業所 331名

#### 5. 企画広報事業

若年・女性労働力等の人材確保のため、就職説明会やインターンシップ事業等を実施し、一般消費者や学生・生徒に対して、社会インフラである物流業界を広く周知するため、イベントやメディアを通じたPRを行った。

#### (1) 人材確保対策

- ①就職支援
  - ・地域別就職面談会 (県内8カ所) 参加企業180社 求職者311人
  - ・総合職採用に向けた就職説明会 (愛知学院大学) 3回 参加学生830名
- ②業界PR
  - ・業界の重要性と必要性をテーマとした広報を実施 7校 参加学生759名
  - ・物流出前授業 参加者25名
  - ・愛知サマナーセミナーへの参加
  - ・夏休みPRイベント
  - ・トラックの日PRイベント

・8・

- ・名古屋ターミネーションへの参加
  - ・映画上映前の広報
  - ・Web動画サイトへのショータイムビーの掲載
  - ・主要駅デジタルサイネージによる広報（名古屋駅/金山駅）
  - ・新聞記事による広報（中部経済新聞）
  - ・ラジオ放送による広報（東海ラジオ/FM）
- ③セミナーの開催
- ・健康経営優良法人認定取得セミナー 参加者 113名
  - ・輸送の安全・働き方改革セミナー 参加者 104名
  - ・健康起因事故防止セミナー 参加者 74名
  - ・人材確保セミナー ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

## ◎その他事業活動

### 1. 広報事業

#### (1) 「第15回トラックフェスティバル」の開催

場 所：中部トラック総合研修センター  
来場者：3,300名  
プレスリリースによる広報を実施

### 2. 労働環境改善対策事業

#### (1) 労働環境改善に係る活動

- ◇時間外労働の上限規制（960時間以内）適用や年次有給休暇取得の義務化の法令改正について、WEBや広報誌及び関連するセミナーや講習会等において、行政機関と連携しつつ周知した。また、業界団体として、ホワイト物流推進運動への事業者の賛同を促すべく、「自主行動宣言」の提出を決議した。
- ◇労働セミナー（開催8支部10回）

#### (2) 健康起因事故防止に係る助成

- ①睡眠時無呼吸症候群(SAS)スクリーニング検査  
受診者数：2,964名(全ト協分含む)
- ②運転不能障害疾患診断  
脳ドック(認知症診断を含む)受診者：638名  
心臓ドック受診者数：118名

### 3. 災害物流対策事業

南海トラフ地震等の大規模災害へ備えるべく、災害時に迅速な緊急輸送態勢をとるための体制整備に努め、県や市町村と連携し防災訓練を実施した。

#### (1) 災害物流体制の整備

協会事業継続計画(BCP)に基づき、災害時等における行政からの緊急物資輸送要請に対し迅速に車両を手配するための緊急輸送車両依頼システム、ならびに県の広域物資輸送拠点である中部トラック総合研修センター屋内実技練習場において、時間帯を問わず緊急物資輸送要請に対応するための照明器具を導入した。

#### (2) 災害物流専門家の育成

全ト協と連携し、災害時に県の災害対策本部等に派遣する物流専門家の育成に向けた協議を行った。

#### (2) 機関誌「トラックあいち」、ホームページリニューアルと情報提供の充実

- ◇トラックあいち 毎月1回発行
- ◇ホームページ Wordpress サイトへリニューアル  
593,761ページビュー (H31.4.1~R2.3.31)  
※全体の約3割がスマートフォンによる閲覧

#### (3) 各種メディアによる広報

- ◇「交通安全対策」広報  
交通事故防止：テレビCM本数 107本

### 6. 関係機関及び荷主等との連携と相互理解

- (1) 荷主との協力・連携と適正取引に向けたガイドラインの推進  
協議会を通じて、関係行政機関及び荷主との連携・協力により、平成30年度にまとめたガイドラインの普及定着に向け広報に努めた。
- (2) 新標準貨物自動車運送約款の周知  
新標準貨物自動車運送約款における運賃・料金の区別の明確化を会員に周知した。
- (3) 愛知県トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会への参画  
運送事業者、荷主、行政等の関係者が一体となり、アドバンス事業によるトラックドライバーの長時間労働の抑制に向けた環境整備について協議した。

### (3) 総合防災訓練への参加

- ◇防災訓練参加回数：15回
- ◇参加台数：20台
- ◇参加人員：37名
- ◇広域物資輸送拠点における運営訓練
  - ①令和元年11月22日(金) [愛知県・中部トラック総合研修センター・豊田市]  
車両1台/リフト2台
  - ②令和元年12月6日(金) [愛知県・尾張旭市・東浦町]  
車両2台  
～10日(火)
  - ③令和2年1月14日(火) [愛知県・津島市・愛西市]  
車両2台/物流専門家1名  
～15日(水)
  - ④令和2年2月12日(水) [愛知県・豊橋市・豊川市・蒲郡市・田原市・新城市]  
車両3台/物流専門家1名  
～13日(木)

### 4. 運行管理者試験の実施

- ◇第1回(R1.8) 受験者2,514名(合格者数780名 合格率35.1%)
- ◇第2回(R2.3) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

### 5. 賀詞交歓会の開催(R2.1)

- ◇場所：名古屋東急ホテル
- ◇参加者：387名

### 6. その他活動

- (1) 各種陳情・要望
  - ◇自民党愛知県支部連合会所属国会議員との懇談会(R1.10)
    - ・参加者：自民党愛知県支部連合会所属国会議員15名
    - ・要望：令和2年度税制改正等に関する要望(別紙)等
  - ◇公明党愛知県本部 団体懇談会(R1.11)
    - ・参加者：公明党愛知県本部所属議員6名
    - ・要望：令和2年度税制改正等に関する要望等
- (2) 支部組織等の充実  
本部・支部・研修センターが連携し、各種行事への参加に努めた。
- (3) 未加入事業者の会の促進(入会会員：72社)
  - ◇本部、支部が連携した事業者訪問
  - ◇適正化事業実施機関が行う巡回指導
  - ◇中部運輸局愛知運輸支局講習会での説明(2回)

・11・

### (4) 部会機能の活動支援

品目別部会、青年部会、女性部会の活動を支援するため、全ト協の各部会との情報交換等に努めた。

### (5) 働き方改革関連法への対応

勤怠管理システムの試験導入に加え、平日夜間や休日出勤のルール厳格化により総労働時間の抑制に努め、グループウェアや電子決裁の導入により大幅な事務効率化に努めた。

### (6) 調査研究の推進

名古屋高速道路や伊勢湾岸道等の中京圏の新たな高速道路料金に関する具体方針において、会員事業者と連携し、業界としての意見や要望を取りまとめ要請活動につなげた。また、物流二法施行以来の天改正となった貨物自動車運送事業法について、行政や全ト協等と連携して情報収集し、セミナーや講習会、WEBや広報誌等により事業者への情報展開に努めた。

### (7) 消費税増税に伴う円滑かつ適切な転嫁の徹底

パンフレット「消費税率の円滑かつ適正な転嫁のために」改訂版を活用し、事業者や消費者からの各種相談に対応するとともに、トラック会館やサービスセンター、研修センター利用料金等の改定についても事前告知に努め、混乱なく新料金体制への移行を実施した。

・12・

## ◎会議

### 1. 会議

◇理事会	6回
◇常任理事会	12回
◇正副会長会議	15回
◇総務委員会	18回
・近代化基金運営専門委員会	10回
・業務施設運営専門委員会	3回
◇経営研究委員会	3回
◇交通・環境対策委員会	6回
・フェスティバル実行委員会	8回
◇災害対策委員会	3回
◇適正化事業特別推進委員会	2回
◇研修センター運営委員会	7回
・研修検討委員会	2回
◇企画広報委員会	5回
◇労働委員会	3回

### 2. 部会等

#### (1) 特別積合せ部会 (21社)

ドライブバー不足など厳しい事業環境が続く中、輸送秩序の確立を図るため、「運営委員会」(総会、委員会4回)、「ブロック会議」(名古屋中・南、小牧、一宮、西三河、東三河の県内6ブロック)を開催し、諸問題について会員相互の情報交換を行い、連携を深めた。

#### (2) 青年部会 (176社)

若手経営者の自己研鑽の場として、セミナー、会員交流会など3委員会(総務・研修・事業)によって運営し、10月には中部ブロック大会が愛知県にて開催され、全国の青年経営者と交流を深めた。また、全国の各ブロック大会への参加、他団体青年組織との交流会を実施し、積極的に意見交換を行った。

#### (3) 女性部会 (37社)

設立10年目となった本年度は、セミナーや新年交通安全参拜を行い部会員の学びと交流を深めたほか、愛ト協副会長との懇談会を開催し、女性部会の今後について意見交換を行った。また、2月に中部ブロック研修会を愛知県で開催し、他県の女性部会との交流を深め、積極的な意見交換を行った。

### (4) 品目別部会

#### ◇中部トラック部会 (56社)

会員に対し最新有益な情報を提供し、事業の利便を図る為、ホームページを随時更新した。安心・安全に関しては、災害や事故などの不測の事態に会員各社が協力して社会的な影響を最小限に抑えるための相互援助協定である「99ネット中部」を引き続き継続した。

関連6団体(鍍金・塗装・薬種・歯科・医器・タンク)で毒劇物及び劇物取扱法、消防法に基づく資格試験の受験講習会を実施し、有資格者の確保に努めた。また、危険物取扱の安全確保・未然事故防止を目的とした「荷卸し時の相互立会い」推進活動を昨年に引き続き実施した。

#### ◇生コン部会 (25社)

厳しい経済状況に対応すべく各種会議を定期的に開催。会員相互の情報交換を積極的に行ったほか、全ト協生コン部会を通じ全国の部会員との連携強化や事故防止活動に努めた。

#### ◇セメント部会 (19社)

国内でのセメントの販売・運送状況等について随時会議・研修会等を開催し、会員相互の情報交換に努めてきた。また、荷主懇談会を開催し、メーカーと運送業者の相互理解を深めたほか、全ト協セメント部会の通常総会を愛知県で開催する等、諸活動に積極的に参加し、全国レベルでの情報交換及び調査研究を行った。

#### ◇ダンプロトラック部会 (17社)

先行きの見えない経済情勢の中、随時部会を開催し、厳しい状況に対応するため会員相互の情報交換を積極的に行った。また、全ト協ダンプロトラック部会では、ワーキング委員会を発足するなどし、より具体的・実務的な課題解決に努めた。

#### ◇海上コンテナ部会 (264社)

集中管理ゲート及び SOLAS 条約に基づく出入り管理情報システムの管理・運用を行った他、返却コンテナの洗浄、ラベル剥離等の付帯作業が抱える問題点や「国際海上コンテナの安全輸送ガイドライン」の周知状況等について、関係行政や関連団体と協議・協力をを行った。また、毎月ターミナルパトロールを実施し、構内ルールの遵守や安全運行を呼び掛けるとともに、港湾道路における路上駐車シャシーの改善指導や安全講習会等を行った。

更に、壘江警察署、愛知運輸支局等と合同による緊締装置の街頭指導を実施し、横断事故防止に努めた。また、名古屋港管理組合、飛島村役場と合同により「クリンキャンペーン」と題し、地域の清掃活動を行った。

◎庶務

◇重量品鉄鋼部会 (45社)

全ト協の3部会(重量部会・鉄鋼部会・鉄骨橋梁部会)の会議及び研修会へ積極的に参加し、他県との意見交換を行った。また、特殊車両の通行に関する指導取締要領の一部改正等に伴い、法令等の正しい理解と周知徹底を図るため、特殊車両通行許可に係る講習会を開催した。

◇食料品部会 (29社)

会員相互の意見交換並びに親睦を図るため定期的に会議を開催した。また、全ト協の会議へ積極的に参加し様々な諸問題に取り組み等、意見交換・情報収集等に努めた。愛知県冷蔵倉庫協会との意見交換会を開催し人材確保や待機時間等の諸問題について議論した。

◇引越部会 (27社)

厳しい経営状況が続く中、会員相互の意見交換並びに親睦を図るため、新春経営セミナー、研修会等を開催した。  
一方、消費生活センター・一般消費者からの輸送相談窓口として、引越相談、クレーム処理に対応した。また、行政機関と意見交換会を開催し安全安心な引越サービスの提供について情報共有を行った。更に部会独自のホームページを開設し部会員へ定期的な情報を提供した。  
引越講習(基本・管理)には、当部会からも多数参加し、引越送約款を中心とした基礎知識の習得・再確認と専門知識の習得に努めた。全ト協が推奨する引越事業者優良認定事業所(引越安心マーク)を周知するため、のぼり旗の作成やラッピングトラックを行った。

1. 会 員

令和2年3月31日現在

会員総数 2,634社  
車両総数 77,985台

支部	会員数	支部	会員数
名古屋第一支部	208	尾西支部	465
名古屋第二支部	214	知多支部	257
名古屋第三支部	225	西三支部	395
名古屋第四支部	207	東三支部	262
尾東支部	401	合 計	2,634

※入会：72社・退会：32社

2. 役 員

- ◇役員数 (R2.3.31現在)
- ・会長 1名
- ・副会長 7名
- ・常任理事 27名
- ・理事 60名
- ・専務理事 1名
- ・常務理事 3名
- ・監事 3名

3. 総 会

- ◇第12回 通常総会 R1.6.20 (中部トラック総合研修センター)
- ◇第13回 通常総会 R2.3.24 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面で開催)

4. 表彰関係 (敬称略)

(1) 国土交通大臣表彰

- ◇自動車関係功労者 齋藤運輸(株) 会長 齋藤 靖人
- ◇道路運送事業等運転者永年勤続カリッソー(株) 運転者 1名

(8) 全ト協「正しい運転・明るい輸送運動」表彰  
 ◇9 事業所

(2) 中部運輸局長表彰  
 ◇団体役員 名海運輸(作業)株式会社 山本 敦  
 ◇運転者 1名

(3) 中部運輸局愛知運輸支局長表彰  
 ◇運転者 1名  
 ◇団体職員 1名

(4) 中部運輸局優良事業者表彰(安全性優良事業所)  
 ◇16 事業所

(5) 中部運輸局愛知運輸支局優良事業者表彰(安全性優良事業所)  
 ◇140 事業所

(6) 警察関係表彰

- ◇交通栄誉章「緑十字金章」
  - ・運転者 1名
- ◇交通栄誉章「緑十字銀章」
  - ・運転者 1名
- ◇中部管区警察局長・中部交通安全協会会長連名表彰
  - ・運転者 8名
- ◇交通栄誉章「緑十字銅章」
  - ・運転者 33名
- ◇愛知県警本部長・愛知県交通安全協会会長連名表彰
  - ・運転者 77名

(7) 全ト協表彰関係

- ◇全ト協表彰規程による表彰
  - ・事業役員
 

旭運輸(株)	鈴木 一男	代表取締役
名孝高速	鷲谷 雄二	取締役副社長
明倫運輸(株)	中村 吉之	代表取締役
林運送(株)	林 市衛	代表取締役社長
(株)速水運輸	速水 敬志	代表取締役
石川運輸(株)	石川 正彦	代表取締役社長
(有)常滑荷役	山田 護	代表取締役
岡崎通運(株)	前山 敏昭	代表取締役会長
蒲郡運送(株)	伊藤 公一	専務取締役
  - ・優良運転者 3名
- ◇優良運転者顕彰
  - ・金十字章 66名
  - ・銀十字章 145名

# 令和元年度 財務諸表(案)

自 平成31年 4月 1日  
至 令和 2年 3月31日



## 財務諸表の内容

### 1. 貸借対照表

令和元年度末の協会全体の「財産状況」を表す

### 2. 正味財産増減計算書

令和元年度の協会全体の「収支状況」を表す

⇒ 企業会計の「損益計算書」に相当

※ 正味財産・・・ 企業会計の「自己資本」に相当

### 3. 財務諸表に対する注記

## 正味財産増減計算書

区分	今期 (百万円)	前期 (百万円)	前期比増減 (百万円)
(1) 経常収益	1,849	1,836	13
(2) 経常費用	1,977	1,980	▲3
(3) 経常増減	▲128	▲144	16
(4) 法人税等	1	1	0
(5) 一般正味財産 増減額	▲129	▲145	16

※実質経常増減 + 64

(経常増減▲128 - 交付金からの投資56 - 一般正味振替2 + 減価償却250)

2

## 経常増減(前期比増減)

### 1. 経常収益 18億4千9百万円

・受取会費 3億3,601万円 (+830万)

・受取補助金等 13億5,610万円 (▲16万)

[	交付金	12億5,514万円	※基金造成分除く
	全ト協	9,876万円	

#### 【概要】

\* 受取会費が前年度と比較して約800万円増額となっている。平成31年度第1期分より等級割から平等割に改定されたことが主な要因である。また、新入会事業者数が昨年度より12社増加し、入会金が60万円増額となった。

\* 受取補助金は全体としては横ばいであるが、交付金は約2,000万円増額、全ト協からの助成金は約2,000万円減額であった。

3

## 経常増減(前期比増減)

### 2. 経常費用 19億7千7百万円

・事業費 19億3,532万円

租税公課	5,987万円	(▲3,424万)
支払助成金	4億3,865万円	(▲6,830万)
広告宣伝費	8,419万円	(+2,370万)
減価償却費	2億4,652万円	(+1,027万)

#### 【概要】

\* 前年度と比べて約300万円減額となり、費用全体としてはほぼ変わらなかった。主な減額要因としては、藤前センター売却による固定資産税・都市計画税(▲234万円)、近代化基金利子補給(▲2,076万円)などが挙げられる。

\* 増額となった事業費としては、積極的な人材確保対策事業の取組による業務委託費(+3,278万円)や広告宣伝費(+2,370万円)が挙げられる。

4

## 指定正味財産と一般正味財産

### 1. 受取補助金等 1億2千万円

・交付金 1億2,000万円

(長期改修計画に基づく基金造成分)

### 2. 指定正味財産 54億7千6百万円

⇒ 交付金等を財源とし用途が限定される

(近代化基金、施設運営基金等)

### 3. 一般正味財産 64億3千4百万円

⇒ 指定正味財産以外の正味財産

### 4. 正味財産期末残高 119億1千万円

5

## 貸借対照表

- **資産の部** 121億4,517万円
  - ⇒ 流動資産 9億6,001万円
  - 固定資産 111億8,516万円
- **負債の部** 2億3,458万円
  - ⇒ 流動負債 5,448万円
  - 固定負債 1億8,010万円
- **正味財産の部** 119億1,058万円
  - ⇒ 指定正味財産 54億7,590万円
  - 一般正味財産 64億3,468万円

# 令和元年度 公益目的支出計画実施報告(案)

自 平成31年 4月 1日  
至 令和 2年 3月31日



## 概要

### 1. 公益目的支出計画

一般社団法人への移行以前に交付金等で取得した財産（公益目的財産）を公益事業に支出していき、最終的に計算上0（ゼロ）にするための計画

毎年、公益目的支出計画実施報告書等を、**各事業年度終了後の3ヶ月以内**に所管する愛知県に提出しなければならない。

\* 理事会・総会承認必要

#### 【公益事業】

一般社団法人へ移行以前から実施している不特定多数を対象とした事業

決算書上における、正味財産増減計算内訳書の実施事業等会計（継続事業）が該当する。

[ ・トラック運送振興事業 … 適正化事業・交通安全環境フェア事業  
・研修センター事業 … 研修事業・運行管理者講習事業 ]

## 公益目的收支差額

### 2. 公益目的收支差額

区 分	金 額
① 前年度末収支差額	▲14億6,184万3,128円
② 公益目的収入	3億9,113万0,206円
③ 公益目的支出	5億9,567万5,751円
④ 当期収支差額(②-③)	▲2億0,454万5,545円
A. 今年度末収支差額(①+④)	▲16億6,638万8,673円

B. 公益目的財産額 122億5,361万2,640円 [固定数値]

公益目的財産残額(A+B) 105億8,722万3,967円

計画上の完了見込み 令和65年3月31日 (計画変更なし) 70年

審議 1 (3) ③

承認事項

(1) 財務諸表

① 貸借対照表

(貸借対照表内訳表を含む。)

② 正味財産増減計算書

(正味財産増減計算書内訳表を含む。)

③ 財務諸表に対する注記

(2) 附属明細書

報告事項

(1) 公益目的支出計画実施報告書

財務諸表 (案)

自 平成 31 年 4 月 1 日  
至 令和 2 年 3 月 31 日

# 貸借対照表

令和2年 3月31日現在

元年度	一般社団法人 愛知県トランプ協会	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>				
<b>1. 流動資産</b>				
現金預金	948,610,948	920,378,125	28,232,823	▲
未収金	6,470,137	6,536,727	▲ 66,590	
貸倒引当金	▲ 1,917	▲ 31,758	▲ 29,841	
未収取戻	1,921,417	1,989,251	▲ 67,834	
商品	722,155	1,890,112	▲ 1,167,957	
貯蔵品	1,678,307	2,557,877	▲ 879,570	
仮払金	607,195	249,222	▲ 357,973	
<b>流動資産合計</b>	<b>960,008,232</b>	<b>923,571,556</b>	<b>26,436,676</b>	
<b>2. 固定資産</b>				
<b>(1) 特定資産</b>				
建物	2,403,283,182	2,533,442,363	▲ 130,159,181	
構築物	469,740,335	526,158,438	▲ 56,418,103	
車両運搬具	84,994,786	59,892,832	▲ 25,101,954	
什器備品	88,985,500	111,552,454	▲ 22,566,954	
土地	2,185,295,725	2,186,295,725	0	
リース資産	12,414,878	10,855,258	▲ 1,559,620	
ソフトウエア	20,912,075	26,812,391	▲ 5,900,316	
近代化基金引当資産	4,996,175,000	5,007,985,000	▲ 11,810,000	
施設運営基金引当資産	727,135,563	597,417,563	▲ 129,718,000	
退職給付引当資産	172,410,969	162,172,095	▲ 10,238,874	
<b>特定資産合計</b>	<b>11,162,348,013</b>	<b>11,224,584,119</b>	<b>▲ 62,236,106</b>	
<b>(2) その他固定資産</b>				
電話加入権	32,300	32,300	0	
商標権	1,953,150	476,000	▲ 1,477,150	
保証金	390,000	320,000	▲ 70,000	
預託金	153,120	125,920	▲ 27,200	
投資有価証券	20,372,000	20,716,000	▲ 344,000	
その他固定資産合計	22,810,570	21,600,220	▲ 1,210,350	
<b>固定資産合計</b>	<b>11,185,158,583</b>	<b>11,246,284,339</b>	<b>▲ 61,095,756</b>	
<b>資産合計</b>	<b>12,145,166,815</b>	<b>12,179,825,895</b>	<b>▲ 34,659,080</b>	
<b>II 負債の部</b>				
<b>1. 流動負債</b>				
未払金	22,213,556	34,227,108	▲ 12,013,552	
前受金	5,609,670	11,928,320	▲ 6,319,650	
仮受金	4,327,472	4,545,239	▲ 217,767	
貸与引当金	19,612,266	20,682,866	▲ 1,070,600	
短期リース債務	2,721,600	2,784,648	▲ 33,048	
<b>流動負債合計</b>	<b>54,484,564</b>	<b>74,139,181</b>	<b>▲ 19,654,617</b>	
<b>2. 固定負債</b>				
退職給付引当金	155,370,069	138,158,062	▲ 17,212,007	
役員退職慰労引当金	17,040,900	24,014,033	▲ 6,973,133	
長期リース債務	7,687,872	7,612,704	▲ 75,168	
<b>固定負債合計</b>	<b>180,098,841</b>	<b>169,784,799</b>	<b>▲ 10,314,042</b>	
<b>負債合計</b>	<b>234,583,405</b>	<b>243,923,980</b>	<b>▲ 9,340,575</b>	
<b>III 正味財産の部</b>				
<b>1. 指定正味財産</b>				
地方公共団体助成交付金	5,475,901,422	5,371,730,580	▲ 104,170,842	
<b>指定正味財産合計</b>	<b>5,475,901,422</b>	<b>5,371,730,580</b>	<b>▲ 104,170,842</b>	
<b>2. 一般正味財産</b>				
一般正味財産	6,433,681,988	6,564,171,335	▲ 130,489,347	
<b>一般正味財産への充当額</b>	<b>(5,614,035,622)</b>	<b>(5,690,681,444)</b>	<b>▲ 76,645,822</b>	
<b>正味財産合計</b>	<b>11,910,683,410</b>	<b>11,935,901,915</b>	<b>▲ 25,318,505</b>	
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>12,145,166,815</b>	<b>12,179,825,895</b>	<b>▲ 34,659,080</b>	

# 貸借対照表内訳表

令和2年 3月31日現在

元年度	一般社団法人 愛知県トランプ協会	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>				
<b>1. 流動資産</b>				
現金預金	948,610,948	920,378,125	28,232,823	▲
未収金	6,470,137	6,536,727	▲ 66,590	
貸倒引当金	▲ 1,917	▲ 31,758	▲ 29,841	
未収取戻	1,921,417	1,989,251	▲ 67,834	
商品	722,155	1,890,112	▲ 1,167,957	
貯蔵品	1,678,307	2,557,877	▲ 879,570	
仮払金	607,195	249,222	▲ 357,973	
<b>流動資産合計</b>	<b>960,008,232</b>	<b>923,571,556</b>	<b>26,436,676</b>	
<b>2. 固定資産</b>				
<b>(1) 特定資産</b>				
建物	2,403,283,182	2,533,442,363	▲ 130,159,181	
構築物	469,740,335	526,158,438	▲ 56,418,103	
車両運搬具	84,994,786	59,892,832	▲ 25,101,954	
什器備品	88,985,500	111,552,454	▲ 22,566,954	
土地	2,185,295,725	2,186,295,725	0	
リース資産	12,414,878	10,855,258	▲ 1,559,620	
ソフトウエア	20,912,075	26,812,391	▲ 5,900,316	
近代化基金引当資産	4,996,175,000	5,007,985,000	▲ 11,810,000	
施設運営基金引当資産	727,135,563	597,417,563	▲ 129,718,000	
退職給付引当資産	172,410,969	162,172,095	▲ 10,238,874	
<b>特定資産合計</b>	<b>11,162,348,013</b>	<b>11,224,584,119</b>	<b>▲ 62,236,106</b>	
<b>(2) その他固定資産</b>				
電話加入権	32,300	32,300	0	
商標権	1,953,150	476,000	▲ 1,477,150	
保証金	390,000	320,000	▲ 70,000	
預託金	153,120	125,920	▲ 27,200	
投資有価証券	20,372,000	20,716,000	▲ 344,000	
その他固定資産合計	22,810,570	21,600,220	▲ 1,210,350	
<b>固定資産合計</b>	<b>11,185,158,583</b>	<b>11,246,284,339</b>	<b>▲ 61,095,756</b>	
<b>資産合計</b>	<b>12,145,166,815</b>	<b>12,179,825,895</b>	<b>▲ 34,659,080</b>	
<b>II 負債の部</b>				
<b>1. 流動負債</b>				
未払金	22,213,556	34,227,108	▲ 12,013,552	
前受金	5,609,670	11,928,320	▲ 6,319,650	
仮受金	4,327,472	4,545,239	▲ 217,767	
貸与引当金	19,612,266	20,682,866	▲ 1,070,600	
短期リース債務	2,721,600	2,784,648	▲ 33,048	
<b>流動負債合計</b>	<b>54,484,564</b>	<b>74,139,181</b>	<b>▲ 19,654,617</b>	
<b>2. 固定負債</b>				
退職給付引当金	155,370,069	138,158,062	▲ 17,212,007	
役員退職慰労引当金	17,040,900	24,014,033	▲ 6,973,133	
長期リース債務	7,687,872	7,612,704	▲ 75,168	
<b>固定負債合計</b>	<b>180,098,841</b>	<b>169,784,799</b>	<b>▲ 10,314,042</b>	
<b>負債合計</b>	<b>234,583,405</b>	<b>243,923,980</b>	<b>▲ 9,340,575</b>	
<b>III 正味財産の部</b>				
<b>1. 指定正味財産</b>				
地方公共団体助成交付金	5,475,901,422	5,371,730,580	▲ 104,170,842	
<b>指定正味財産合計</b>	<b>5,475,901,422</b>	<b>5,371,730,580</b>	<b>▲ 104,170,842</b>	
<b>2. 一般正味財産</b>				
一般正味財産	6,433,681,988	6,564,171,335	▲ 130,489,347	
<b>一般正味財産への充当額</b>	<b>(5,614,035,622)</b>	<b>(5,690,681,444)</b>	<b>▲ 76,645,822</b>	
<b>正味財産合計</b>	<b>11,910,683,410</b>	<b>11,935,901,915</b>	<b>▲ 25,318,505</b>	
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>12,145,166,815</b>	<b>12,179,825,895</b>	<b>▲ 34,659,080</b>	

# 正味財産増減計算書

平成31年 4月 1日から令和2年 3月31日まで

元年度	一般社団法人 愛知県トラック協会	当年度	前年度	増減
<b>1. 一般正味財産増減の部</b>				
<b>(1) 経常増減の部</b>				
特定資産運用益	6,744,531	7,548,443	▲ 803,912	
特定受取利息	6,744,531	7,548,443	▲ 803,912	
受取会費	336,016,800	327,701,700	▲ 8,315,100	
受取人會金	330,465,800	3,000,000	▲ 327,465,800	
受取臨時會費	1,945,000	321,303,700	▲ 320,358,700	
事業販売	112,472,541	101,178,552	▲ 11,293,989	
研修事業収益	71,021,842	60,707,621	▲ 10,314,221	
運社診療事業収益	362,000	241,810	▲ 120,190	
運社管理事務事業収益	3,204,820	2,983,680	▲ 221,140	
各種講習収益	14,918,380	14,875,898	▲ 42,482	
講習事業収益	60,500	0	▲ 60,500	
取寄せ収益	5,734,924	3,946,732	▲ 1,788,192	
輸送サービスセンター運営収益	16,967,575	16,262,811	▲ 704,764	
各種講習料収益	182,500	159,000	▲ 23,500	
受取補助金等	1,366,097,587	1,366,259,633	▲ 162,046	
受取地方助成金	1,252,427,000	1,252,427,000	▲ 22,715,000	
受取上下助成金	98,762,429	121,539,726	▲ 22,777,297	
受取補助金等控除額	2,193,168	2,292,907	▲ 99,740	
雑収益	38,017,386	43,440,187	▲ 5,422,801	
雑収益	6,527,529	6,534,080	▲ 6,551	
受取利息	312,242	312,768	▲ 526	
業務委託収益	7,162,964	14,833,072	▲ 7,670,108	
受取管理料収益	15,793,651	13,540,267	▲ 2,253,384	
山向者人件費受入収益	8,220,000	8,220,000	▲ 0	
経常収益計	1,819,342,845	1,836,128,515	▲ 16,785,670	
<b>(2) 経常費用</b>				
役員報酬	1,935,344,776	1,940,961,592	▲ 5,616,816	
給料及手当	23,675,708	24,585,337	▲ 909,629	
賞与	292,640,037	227,225,187	▲ 64,414,850	
退職給付費用	39,085,142	41,295,430	▲ 2,210,288	
法定福利費	14,982,143	10,840,563	▲ 4,141,580	
福利厚生費	46,681,368	62,385,241	▲ 15,703,873	
賞与引当金繰入	2,345,057	1,981,381	▲ 363,676	
役員退職慰労引当金繰入	16,572,846	17,084,064	▲ 511,218	
会議費	2,659,465	3,805,316	▲ 1,145,851	
旅費交通費	5,188,145	5,205,685	▲ 17,540	
通信費	12,283,303	14,297,250	▲ 2,013,947	
消耗品費	8,626,065	9,009,357	▲ 383,292	
修繕費	7,266,729	8,595,786	▲ 1,329,057	
図書印刷費	2,316,404	3,618,510	▲ 1,302,106	
重畳管理費	33,230,596	35,291,857	▲ 2,061,261	
水道光熱費	11,938,930	13,616,320	▲ 1,677,390	
賃借料	17,522,459	18,221,711	▲ 699,252	
雑費	13,190,711	16,840,020	▲ 3,649,309	
雑費	6,625,345	6,482,400	▲ 142,945	
租税公課	10,390,535	12,740,604	▲ 2,350,069	
支払利息	69,874,190	63,297,981	▲ 6,576,209	
支払動成金	367,080,521	372,784,644	▲ 5,704,123	
監理・顧問料	438,633,795	566,956,161	▲ 128,322,366	
寄付金	3,834,480	3,839,400	▲ 4,920	
雑費	780,780	814,490	▲ 33,710	
業務委託費	131,186,848	98,401,053	▲ 32,785,795	
施設維持費	50,113,243	49,083,444	▲ 1,029,799	
販売原価	84,192,616	60,489,676	▲ 23,702,940	
雑費	3,897,632	2,434,787	▲ 1,462,845	
雑費	52,086,854	13,767,671	▲ 38,319,183	

# 正味財産増減計算書

平成31年 4月 1日から令和2年 3月31日まで

元年度	一般社団法人 愛知県トラック協会	当年度	前年度	増減
<b>1. 一般正味財産増減の部</b>				
<b>(1) 経常増減の部</b>				
特定資産運用益	6,744,531	7,548,443	▲ 803,912	
特定受取利息	6,744,531	7,548,443	▲ 803,912	
受取会費	336,016,800	327,701,700	▲ 8,315,100	
受取人會金	330,465,800	3,000,000	▲ 327,465,800	
受取臨時會費	1,945,000	321,303,700	▲ 320,358,700	
事業販売	112,472,541	101,178,552	▲ 11,293,989	
研修事業収益	71,021,842	60,707,621	▲ 10,314,221	
運社診療事業収益	362,000	241,810	▲ 120,190	
運社管理事務事業収益	3,204,820	2,983,680	▲ 221,140	
各種講習収益	14,918,380	14,875,898	▲ 42,482	
講習事業収益	60,500	0	▲ 60,500	
取寄せ収益	5,734,924	3,946,732	▲ 1,788,192	
輸送サービスセンター運営収益	16,967,575	16,262,811	▲ 704,764	
各種講習料収益	182,500	159,000	▲ 23,500	
受取補助金等	1,366,097,587	1,366,259,633	▲ 162,046	
受取地方助成金	1,252,427,000	1,252,427,000	▲ 22,715,000	
受取上下助成金	98,762,429	121,539,726	▲ 22,777,297	
受取補助金等控除額	2,193,168	2,292,907	▲ 99,740	
雑収益	38,017,386	43,440,187	▲ 5,422,801	
雑収益	6,527,529	6,534,080	▲ 6,551	
受取利息	312,242	312,768	▲ 526	
業務委託収益	7,162,964	14,833,072	▲ 7,670,108	
受取管理料収益	15,793,651	13,540,267	▲ 2,253,384	
山向者人件費受入収益	8,220,000	8,220,000	▲ 0	
経常収益計	1,819,342,845	1,836,128,515	▲ 16,785,670	
<b>(2) 経常費用</b>				
役員報酬	1,935,344,776	1,940,961,592	▲ 5,616,816	
給料及手当	23,675,708	24,585,337	▲ 909,629	
賞与	292,640,037	227,225,187	▲ 64,414,850	
退職給付費用	39,085,142	41,295,430	▲ 2,210,288	
法定福利費	14,982,143	10,840,563	▲ 4,141,580	
福利厚生費	46,681,368	62,385,241	▲ 15,703,873	
賞与引当金繰入	2,345,057	1,981,381	▲ 363,676	
役員退職慰労引当金繰入	16,572,846	17,084,064	▲ 511,218	
会議費	2,659,465	3,805,316	▲ 1,145,851	
旅費交通費	5,188,145	5,205,685	▲ 17,540	
通信費	12,283,303	14,297,250	▲ 2,013,947	
消耗品費	8,626,065	9,009,357	▲ 383,292	
修繕費	7,266,729	8,595,786	▲ 1,329,057	
図書印刷費	2,316,404	3,618,510	▲ 1,302,106	
重畳管理費	33,230,596	35,291,857	▲ 2,061,261	
水道光熱費	11,938,930	13,616,320	▲ 1,677,390	
賃借料	17,522,459	18,221,711	▲ 699,252	
雑費	13,190,711	16,840,020	▲ 3,649,309	
雑費	6,625,345	6,482,400	▲ 142,945	
租税公課	10,390,535	12,740,604	▲ 2,350,069	
支払利息	69,874,190	63,297,981	▲ 6,576,209	
支払動成金	367,080,521	372,784,644	▲ 5,704,123	
監理・顧問料	438,633,795	566,956,161	▲ 128,322,366	
寄付金	3,834,480	3,839,400	▲ 4,920	
雑費	780,780	814,490	▲ 33,710	
業務委託費	131,186,848	98,401,053	▲ 32,785,795	
施設維持費	50,113,243	49,083,444	▲ 1,029,799	
販売原価	84,192,616	60,489,676	▲ 23,702,940	
雑費	3,897,632	2,434,787	▲ 1,462,845	
雑費	52,086,854	13,767,671	▲ 38,319,183	

# 正味財産増減計算書内訳表

平成31年 4月 1日から令和2年 3月31日まで

元年度 一般社団法人、愛知県トラック協会

(単位：円)

科 目	実務事業等会計		その他会計		法人会計	内訳取引消去	合 計
	トラク運送振興事業	研修等事業	実務事業	収益事業			
Ⅰ 一般正味財産増減の部							
Ⅰ. 経常増減の部							
(1) 収益収益							
特定資産運用益	0	247,657	247,657	6,491,778	6,496,874	0	6,744,531
特定受取利息	0	247,657	247,657	5,491,778	6,496,874	0	6,744,531
受取会費	0	0	0	0	1,945,000	0	336,010,800
受取入会金	0	0	0	0	0	0	3,600,000
受取会員会費	0	0	0	0	0	0	330,465,800
受取臨時会費	0	0	0	0	1,945,000	0	1,945,000
事業収益	0	74,508,098	74,508,098	10,474,675	27,399,768	0	112,472,541
研修等事業収益	0	71,021,842	71,021,842	0	0	0	71,021,842
適性診断事業収益	0	0	0	362,000	362,000	0	362,000
運行管理者講習事業収益	0	3,204,820	3,204,820	0	0	0	3,204,820
全協運営収益	0	60,500	60,500	0	0	0	14,918,380
講習事業収益	0	310,936	310,936	0	0	0	60,500
販売収益	0	0	0	0	5,443,988	0	5,764,924
備忘サービスセンター運営収益	0	0	0	10,112,675	6,854,900	0	16,967,575
各種講習料収益	0	0	0	0	182,500	0	182,500
受取補助金等	128,086,459	170,501,864	298,588,323	1,056,977,095	1,057,509,264	0	1,356,097,537
受取地方助成金	108,176,263	158,183,738	266,360,001	988,781,999	989,781,999	0	1,285,142,000
受取全土助成金	19,910,196	12,318,126	32,228,322	66,001,938	66,634,107	0	98,762,429
受取補助金等振替額	0	0	0	2,193,158	2,193,158	0	2,193,158
雑収益	0	17,696,128	17,696,128	450,000	9,726,644	0	38,017,380
受取利息	0	1,589,954	1,589,954	450,000	2,563,680	0	6,527,529
受取賃料収益	0	312,523	312,523	0	0	0	312,523
受取賃借料収益	0	15,793,661	15,793,661	0	0	0	7,162,964
出向者人件費受入収益	0	0	0	0	0	0	15,793,661
雑費	128,086,459	263,043,747	391,130,206	1,074,393,648	39,608,677	0	1,849,342,845
(2) 経費費							
役員報酬	168,341,313	437,334,438	595,675,751	1,191,498,188	148,179,837	0	1,906,344,776
給料及手当	3,074,768	7,071,965	10,146,733	9,531,733	13,628,095	0	23,676,708
賞与	63,671,960	47,821,288	111,493,248	115,352,662	5,794,127	0	232,640,372
退職給付費用	10,162,203	7,191,378	17,353,581	20,681,604	1,019,957	0	39,085,142
法定福利費	6,912,601	2,504,341	9,416,942	5,565,201	556,520	0	14,982,143
法定福利費	12,121,748	9,091,852	21,213,600	24,058,761	1,403,977	0	46,681,368
賞与引当金繰入	647,047	581,512	1,228,559	1,039,447	77,051	0	2,345,057
役員退職慰労引当金繰入	3,842,600	3,049,713	6,883,313	9,274,427	450,692	0	16,672,840
会議費	346,686	797,379	1,144,065	1,074,728	1,525,420	0	2,669,385
旅費交通費	1,149,488	1,118,576	2,268,064	2,071,019	2,918,081	0	5,186,145
通信費	3,085,018	3,847,907	6,932,925	1,919,232	5,350,378	0	12,283,303
雑費	2,022,694	3,085,029	5,107,533	3,036,961	3,519,132	0	8,626,665
消耗品費	823,674	2,905,461	3,729,135	3,150,197	3,537,594	0	7,266,729
雑費	72,160	2,137,044	2,209,204	77,364	107,200	0	2,316,404
車両管理費	6,416,264	12,169,848	18,586,112	13,657,011	14,644,484	0	33,230,596
水道光熱費	1,625,621	7,612,549	9,238,170	2,082,018	2,700,760	0	11,936,930
賃借料	480,000	8,755,970	9,235,970	6,245,129	6,286,489	0	17,522,459
賃借料	365,734	2,176,867	2,542,601	9,056,774	1,591,338	0	13,190,711
保険料	336,742	4,836,820	5,173,562	688,779	1,452,793	0	6,626,345
雑費	561,078	600,494	1,161,572	8,591,076	9,228,963	0	10,390,635
租税公課	321,707	39,708,350	40,030,057	5,844,427	13,969,706	0	59,874,190
支払利息	666,612	905,230	1,591,842	316,687,186	38,801,493	0	357,080,521
支払利息	0	5,354,328	5,354,328	424,408,432	433,299,469	0	438,653,795
監査・顧問料	983,200	884,880	1,868,080	1,769,460	1,966,400	0	3,834,480
寄付金	200,200	180,180	380,380	360,360	400,400	0	780,780
業務委託費	34,079,434	20,684,452	54,763,886	66,846,608	9,571,354	0	131,180,848
広告宣伝費	13,519	30,311,974	30,325,493	6,304,159	19,787,750	0	50,113,243
広告宣伝費	7,480	7,288,722	7,296,202	76,356,418	539,996	0	84,192,616
販売費	999,226	2,124,891	3,123,717	43,887,027	3,562,036	0	3,807,632
雑費	3,332,039	202,289,244	205,621,283	16,540,912	48,963,137	0	52,086,864
雑損	0	0	0	0	19,332	0	246,519,877
							19,332

# 正味財産増減計算書内訳表

平成31年 4月 1日から令和2年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	実施事業等会計		その他会計		法人会計	内部取引消去	合 計
	1777運送振興事業	研修センター事業	小計	収益事業			
管理費	0	0	0	0	41,213,493	0	41,213,493
役員報酬	0	0	0	0	7,071,975	0	7,071,975
給料及手当	0	0	0	0	9,855,371	0	9,855,371
賞与	0	0	0	0	1,057,646	0	1,057,646
退職給付費用	0	0	0	0	3,060,864	0	3,060,864
法定福利費	0	0	0	0	3,113,755	0	3,113,755
福利厚生費	0	0	0	0	276,252	0	276,252
賞与引当金繰入	0	0	0	0	651,420	0	651,420
役員退職慰労引当金繰入	0	0	0	0	797,382	0	797,382
会議費	0	0	0	0	1,241,280	0	1,241,280
旅費交通費	0	0	0	0	732,284	0	732,284
通信費	0	0	0	0	1,522,605	0	1,522,605
消耗品費	0	0	0	0	195,816	0	195,816
修繕費	0	0	0	0	24,376	0	24,376
図書印刷費	0	0	0	0	2,328,724	0	2,328,724
車両管理費	0	0	0	0	854,613	0	854,613
賃借料	0	0	0	0	72,365	0	72,365
保険料	0	0	0	0	41,485	0	41,485
諸謝金	0	0	0	0	394,257	0	394,257
租税公課	0	0	0	0	38,135	0	38,135
支払負担金	0	0	0	0	204,399	0	204,399
雑費・顧問料	0	0	0	0	1,081,520	0	1,081,520
寄付金	0	0	0	0	220,220	0	220,220
業務委託費	0	0	0	0	2,085,696	0	2,085,696
施設維持費	0	0	0	0	14,873	0	14,873
広告宣伝費	0	0	0	0	8,228	0	8,228
雑費	0	0	0	0	722,503	0	722,503
減価償却費	0	0	0	0	3,543,790	0	3,543,790
貸倒引当金繰入	0	0	0	0	1,659	0	1,659
経常費用計	158,341,313	437,334,438	595,675,751	148,170,837	41,213,493	0	1,976,558,269
特別利益等調整前当期経常増減額	▲ 30,254,854	▲ 174,290,691	▲ 204,545,545	▲ 117,104,640	302,996,921	0	▲ 127,215,424
特定資産評価損益等	0	0	0	0	▲ 455,000	0	▲ 455,000
投資有価証券評価損益	0	▲ 344,000	▲ 344,000	▲ 456,000	0	0	▲ 344,000
評価増減累計	0	▲ 344,000	▲ 344,000	▲ 456,000	0	0	▲ 344,000
当期経常増減額	▲ 30,254,854	▲ 174,634,691	▲ 204,889,545	▲ 117,560,640	302,996,921	0	▲ 128,015,424
2. 経常外収益							
(1) 経常外収益							
(2) 経常外費用							
経常外費用計							
当期経常外増減額							
他会計振替前当期一般正味財産増減額	▲ 30,254,854	▲ 174,634,691	▲ 204,889,545	▲ 117,560,640	302,996,921	0	▲ 128,015,424
他会計振替額	▲ 30,144,429	▲ 70,586,081	▲ 100,730,510	▲ 74,105,928	283,662,201	0	0
他事業振替額	0	0	0	▲ 11,557,349	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	▲ 110,425	▲ 104,048,610	▲ 104,159,035	▲ 31,897,363	19,334,720	0	▲ 128,015,424
法人税、住民税及び事業税	0	126,783	126,783	1,025,252	1,347,031	0	1,473,923
当期一般正味財産増減額	▲ 110,425	▲ 104,175,393	▲ 104,285,818	▲ 32,922,615	19,334,611	0	▲ 129,489,347
一般正味財産期首残高	119,560	3,620,597,249	3,620,716,869	2,049,036,499	783,763,117	0	6,564,171,335
一般正味財産期末残高	9,135	3,516,421,856	3,516,430,991	2,016,113,884	803,097,228	0	6,434,681,988
II 指定正味財産増減の部							
受取補助金等	0	30,000,000	30,000,000	90,000,000	0	0	120,000,000
受取助力助成金	0	30,000,000	30,000,000	90,000,000	0	0	120,000,000
特定資産評価損	0	713,000	713,000	12,923,000	0	0	13,636,000
一般正味財産増減額	0	29,287,000	29,287,000	74,883,842	0	0	104,170,842
指定正味財産増減額	0	174,035,323	174,035,323	5,197,695,257	0	0	5,371,730,580
指定正味財産期首残高	0	203,322,323	203,322,323	5,272,579,099	0	0	5,475,901,422
指定正味財産期末残高	9,135	3,719,744,179	3,719,753,314	7,288,632,963	803,097,228	0	11,910,582,410

財務諸表に対する注記

1. 連結事業の消滅に関する注記  
 連結事業の消滅に重要な影響を及ぼす事象又は取引はない。

2. 重要な会計方針  
 (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
 減損有目的の債権並びに子会社株式及び関係会社株式以外の有価証券  
 時価のあるもの  
 期末日の市場価格等に基づき時価法によっている。  
 時価のないもの  
 移動平均法による原価法によっている。

(2) 繰上償還の貸借手続及び貸借方法  
 繰上償還の評価方法は、最終仕入原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法  
 ① 有形固定資産（リース資産を除く）  
 定額法によっている。  
 ② 無形固定資産（リース資産を除く）  
 定額法によっている。  
 ③ リース資産  
 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
 自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。  
 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
 リース期間を耐用年数とし、残存価値を零とする定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準  
 ① 賞与引当金  
 職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に超過する額を計上している。  
 ② 賞借引当金  
 未収金の期末残高に対しては、貸借実績に基づき貸借見込額を計上している。  
 ③ 退職給付引当金  
 職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生している  
 認められる額を計上している。  
 なお、退職給付債務は期末自己都合賞与給付額に基づいて計上している。  
 ④ 役員退職慰労引当金  
 役員退職慰労金の支給に備えるため、有利形普通株主総会決議及び役員功労金基金制に基づく期末  
 要支給額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理  
 消費税等の会計処理は、額法方式によっている。

3. 会計方針の変更  
 該当なし。

4. 特定資産の増減額及びその減価  
 特定資産の増減額及びその減価は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
株 物	2,403,283,182	1,224,237	131,988,418	2,403,283,182
債 権 物	528,158,438	0	88,419,103	469,740,335
車両運搬具	59,192,822	48,666,209	23,564,246	94,994,785
引当品	111,852,454	2,689,920	26,156,874	88,985,900
十 進	2,186,295,725	0	0	2,186,295,725
リース資産	10,855,268	3,227,040	1,657,420	12,414,878
ソフトウェア	26,812,391	3,859,446	9,798,766	20,912,971
近代化基金引当資産	5,007,985,000	530,043,000	541,853,000	4,996,175,000
繰上償還基金引当資産	597,417,563	372,749,240	243,031,240	727,135,563
退職給付引当資産	162,172,026	21,503,874	11,271,000	172,404,900
合 計	11,224,584,119	583,908,391	1,046,145,667	11,162,348,013

5. 特定資産の増減の内訳  
 特定資産の増減の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち特定評価損 からの充当額)	(うち特定評価損 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
株 物	2,403,283,182	( 28,565,944 )	( 2,376,717,238 )	—
債 権 物	469,740,335	( 378,154 )	( 469,362,181 )	—
車両運搬具	84,994,785	0	( 84,994,786 )	—
什器備品	88,985,900	( 1 )	( 88,985,439 )	—
十 進	2,186,295,725	0	( 2,186,295,726 )	—
リース資産	12,414,878	0	( 12,414,878 )	—
ソフトウェア	20,912,971	0	( 20,912,975 )	—
近代化基金引当資産	4,996,175,000	( 4,998,176,000 )	( 20,912,975 )	0
繰上償還基金引当資産	727,135,563	( 452,842,323 )	( 274,293,240 )	—
退職給付引当資産	172,404,900	0	0	—
合 計	11,162,348,013	( 5,476,901,422 )	( 5,514,035,622 )	( 172,410,969 )

6. 損保に供している資産  
 該当なし。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高  
 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
株 物	3,759,305,368	1,365,022,187	2,403,283,182
債 権 物	940,279,231	470,538,896	469,740,335
車両運搬具	235,202,558	156,207,772	84,994,785
什器備品	224,850,054	136,864,554	88,985,900
リース資産	23,538,960	11,115,082	12,414,878
ソフトウェア	65,836,302	44,924,227	20,912,975
商 標 権	2,031,000	771,850	1,953,150
合 計	5,281,034,474	2,168,750,548	3,082,283,906

8. 保証債務等の附帯負債  
 該当なし。

9. 減損有目的の債券の内訳並びに振替預金、時価及び評価損益  
 該当なし。

12. 関連当事者との取引の内容  
該当なし。

13. 重要な後発事象  
該当なし。

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高  
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	(単位:円)	
					当期末残高	指定 正味財産
運輸事業補助金 交付金	愛知県	0	1,255,142,000	1,255,142,000	0	0
安全対策費 補助金	(公社)愛知県 トラフィック協会	220,000,000	120,000,000	0	340,000,000	0
信用保証利助成金	(公社)愛知県 トラフィック協会	0	700,000	700,000	0	0
自家用給湯器具補助金	(公社)愛知県 トラフィック協会	0	5,000,000	5,000,000	0	0
トラフィック安全基金 補助金	(公社)愛知県 トラフィック協会	0	2,368,128	2,368,128	0	0
利子補給助成金	(公社)愛知県 トラフィック協会	3,097,633	9,249,600	10,391,084	1,955,149	未収金 未払金
地方道正化事業助成金	(公社)愛知県 トラフィック協会	0	18,383,000	18,383,000	0	0
環境対策費 補助金	(公社)愛知県 トラフィック協会	0	2,795,000	2,698,000	97,000	未収金 未払金
随時許可医産科 待受助成金	(公社)愛知県 トラフィック協会	0	7,390,000	7,390,000	0	0
中小企業大学校奨励 助成金	(公社)愛知県 トラフィック協会	0	254,800	254,800	0	0
トラフィックの日本国研 究事業等助成金	(公社)愛知県 トラフィック協会	0	1,500,000	1,500,000	0	0
広瀬港防犯促進 助成金	(公社)愛知県 トラフィック協会	30,000	80,000	110,000	0	0
全国関連事業推進 助成金	(公社)愛知県 トラフィック協会	0	2,200,000	2,200,000	0	0
物流対策費 修正費助成金	(公社)愛知県 トラフィック協会	3,900,000	3,100,000	3,000,000	3,100,000	未払金
地方合同請負事業 助成金	(公社)愛知県 トラフィック協会	0	6,850,000	6,850,000	0	0
交通安全防止大会 開催助成金	(公社)愛知県 トラフィック協会	0	254,538	254,538	0	0
人材確保支援事業 助成金	(公社)愛知県 トラフィック協会	0	468,569	468,569	0	0
運行管理費負担等 経費助成金	(公社)愛知県 トラフィック協会	0	22,190	22,190	0	0
血圧計導入促進 助成金	(公社)愛知県 トラフィック協会	0	2,847,000	2,847,000	0	0
7-Elevenストア 支援助成金	(公社)愛知県 トラフィック協会	0	2,100,000	2,100,000	0	0
福中開発費 助成金	(公社)愛知県 トラフィック協会	0	290,000	290,000	0	0
商業部管理費 増大助成金	(公社)愛知県 トラフィック協会	0	16,740,000	16,740,000	0	0
地方債償還費 助成金	(公社)愛知県 トラフィック協会	0	55,600	55,600	0	0
合計		220,727,633	1,473,904,479	1,286,478,913	345,153,149	

11. 指定正味財産から一般正味財産への転着額の内訳  
指定正味財産から一般正味財産への転着額の内訳は、次のとおりである。

内容	金額
収借への返付額	0
減価償却費計上による増減額	2,193,158
施設基金取崩による増減額	0
合計	2,193,158

附属明細書

1. 特定資産の明細  
 特定資産の明細については、財務諸表の注記に記載をしているため、内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	31,758	1,659	31,500	0	1,917
賞与引当金	20,687,806	19,612,266	20,662,866	0	19,612,266
退職給付引当金	138,188,002	18,043,007	831,000	0	155,370,069
役員退職慰労引当金	24,014,033	3,466,867	10,440,000	0	17,040,900

公益目的支出計画実施報告書(案)

自 平成31年 4月 1日  
 至 令和 2年 3月 31日

(2)【公益目的支出計画実施報告書】  
(事業年度ごとに作成してください。)

事業の内容	事業の内容
事業番号	トトラック運送振興事業
種 1	

【実施事業(継続事業)の状況等】

【実施事業収入の額の算定について】

(1)「損益計算書の収益の額」に対応した(2)「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たった考え方を記載してください。

損益計算書の科目	(1)損益計算書の収益の額	(2)実施事業収入の額	(2)の算定の当たった考え方 注
振替預金	108,178,283 円	108,178,283 円	他方適正化事業及びトトラック運送振興事業にかかる助成交付金を実施事業収入とする。
受取地方助成金	19,910,196 円	19,910,196 円	他方適正化事業にかかる全日本トトラック協会からの助成金を実施事業収入とする。
貸倒全ト補助金	128,006,459 円	128,006,459 円	
計			

注：実施事業収入の額の算定の根拠事項について、必要な説明事項を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

(1)「損益計算書の費用の額」に対応した(2)「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たった考え方を記載してください。

損益計算書の科目	(1)損益計算書の費用の額	(2)公益目的支出の額	(2)の算定の当たった考え方 注
振替預金	188,341,313 円	188,341,313 円	前なる費用科目にないため(1)と(2)同額である。
計	188,341,313 円	188,341,313 円	

注：(1)と(2)が同額である場合は、「科目 勘定」の他として、まためた額を(1)及び(2)欄に記載していただきます。

【別紙2:公益目的支出計画実施報告書】

2. 公益目的支出計画実施報告書

【 令和元 年度( 2019/4/1 から 2020/3/31 まで)の概要】

1. 公益目的財産額	12,253,612,640 円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額 (1) + (2) - (3)	1,856,388,073 円
(1) 前事業年度末日の公益目的収支差額	1,461,843,178 円
(2) 当該事業年度の公益目的支出の額	595,075,751 円
(3) 当該事業年度の実施事業収入の額	391,190,206 円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	10,587,223,967 円
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由 注	

令和元年度は、研修センター事業において92百万円の設備投資があった為、公益目的支出額が減少した。  
なお、「公益目的支出計画」の7年度公益目的収支差額の見込み額に列し、999百万円の差額が発生しているが、原因は概2の研修センター事業における研修機及びコース等の大型設備投資の完成遅延によるもの。  
平成29年5月末には全て完成しており、1年遅れでの計画進行ではあるが、通期収支計画に於ける影響はない。

注：詳細は、別紙様式に個別の実績事項等ごとに記載してください。

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の完了予定事業年度の末日	(1) 計画上の完了見込み	令和05年3月31日
	(2) (1)より早まる見込みの場合	

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度 計画
	計画	実績	計画	実績	
公益目的財産額	12,253,612,640 円				
公益目的収支差額	1,799,215,317 円	1,461,843,128 円	2,035,493,317 円	1,856,388,073 円	2,331,663,317 円
公益目的支出の額	428,104,000 円	603,102,331 円	626,184,000 円	595,075,751 円	626,184,000 円
実施事業収入の額	350,000,000 円	371,371,652 円	330,000,000 円	391,190,206 円	330,000,000 円
公益目的財産残額	10,514,297,323 円	10,791,768,512 円	10,218,113,323 円	10,587,223,967 円	9,921,929,323 円

注：前事業年度及び当該事業年度の計画及び実績の額、翌事業年度の計画の額を記載してください。

【実施事業(継続事業)の状況等】  
(2)「公益目的支出計画実施報告書」  
(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号	事業の内容
継 2	研修センター事業

【実施事業収入の額の算定について】

(1)「損益計算書の費用の額」に対応した(2)「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たったの考え方を記載してください。

損益計算書の科目	(1)損益計算書の費用の額	(2)実施事業収入の額	(2)の額の算定に当たったの考え方 注
特定貸付金運用益	247,657 円	247,657 円	有価証券(口6)利息として金額を実施事業収入とする。
事業収益	74,599,099 円	74,599,099 円	研修センター事業における研修受講料収入であり実施事業収入とする。
受取地方助成金	66,163,738 円	168,163,738 円	研修センター事業にかかる助成金交付金を実施事業収入とする。
受取会社助成金	12,318,126 円	12,318,126 円	研修センター事業にかかる正日本トラック協会からの助成金交付金を実施事業収入とする。
その他	17,698,128 円	17,698,128 円	事業収益以外の施設賃料等
計	263,043,747 円	263,043,747 円	

注：実施事業収入の額の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

(1)「損益計算書の費用の額」に対応した(2)「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たったの考え方を記載してください。

損益計算書の科目	(1)損益計算書の費用の額	(2)公益目的支出の額	(2)の額の算定に当たったの考え方 注
その他	437,334,438 円	437,334,438 円	異なる業務科目目ではないため(1)と(2)は同額である。
計	437,334,438 円	437,334,438 円	

注：(1)と(2)が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた繰越(戻し)額に記載してもかまいません。

令和元年度

決算書(案)説明資料

(平成31年4月1日から令和2年3月31日)

令和元年度決算(案)の概要

(単位:百万円)

【正味財産増減計算書】 別表 P.3~P.4  
令和元年度の協会全体の「収支状況」を載します。

【会計用語】	
「正味財産増減計算書」……	企業会計の「損益計算書」に相当する
「正味財産」……	企業会計の「自己資本(資産-負債)」に相当する
・指定正味財産 ……	交付金等を財源とする使途が限定された正味財産
・一般正味財産 ……	正味財産のうち、指定正味財産以外のもの
I (3) 経常増減額 ……	企業会計の「経常利益(損失)」に相当する
I (6) 一般正味財産増減額 ……	企業会計の「当期利益(損失)」に相当する

1. 収支状況概略

	予算 (A)	今期 (B)	予算比増減 (B-A)	前期 (C)	前期比増減 (B-C)
【I 一般正味財産増減の部】					
(1) 経常収益 計	1,862	1,849	▲13	1,836	13
特定資産運用益	7	7	0	8	▲1
受取会費	327	336	9	328	8
事業収益	100	112	12	101	11
受取補助金等	1,381	1,356	▲25	1,356	0
雑収益	47	38	▲9	43	▲5
経常費用 計	2,061	1,977	▲84	1,980	▲83
事業費	2,027	1,936	▲92	1,941	▲6
管理費	34	41	7	39	2
(3) 経常増減(1)-(2)±評価損益0	▲199	▲128	71	▲144	16
(4) 経常外増減		0	0	0	0
(5) 法人税等		1	1	1	0
(6) 一般正味財産 増減(3)+(4)-(5)	▲199	▲129	70	▲145	16
(7) 一般正味財産 期末残高	6,436	6,435	▲1	6,564	▲129
【II 指定正味財産増減の部】					
受取補助金等(a)	120	120	0	120	0
特定資産評価損(b)	0	14	14	▲6	20
一般正味財産への振替額(c)	0	2	2	2	0
(8) 指定正味財産 増減(a)+(b)-(c)	120	104	▲16	124	▲20
(9) 指定正味財産 期末残高	5,488	5,476	▲12	5,372	104
【III 正味財産期末残高】 (7)+(9)	11,924	11,911	▲13	11,936	▲25

◎主な増減内容(前期比増減)

(単位:百万円)

【正味財産増減計算書】

I 一般正味財産増減の部	
(1) 経常収益	1,849 (▲13)
・受取会費	336 (8)
・事業収益	112 (11)
・受取補助金	1,356 (0)
(2) 経常費用	1,977 (▲3)
・事業費	1,936 (▲5)
(3) 経常増減	▲128 (▲16)

※ (経常増減▲128) - (交付金からの投資額6) - [(一般正味財産増減 2) + (減価償却額 250)]  
⇒ (実質経常増減額+64)

(6) 一般正味財産増減	▲129 (16)
(7) 一般正味財産期末残高	6,435 (▲129)
II 指定正味財産増減の部	
(8) 指定正味財産増減	104 (▲20)
(9) 指定正味財産期末残高	5,476 (104)
III 正味財産期末残高	11,911 (▲26)

【貸借対照表】 別表 P.1

I. 資産の部	12,145 (▲34)
1. 流動資産	960 (26)
・現金預金	949 (28)
・未収金	6 (0)
2. 固定資産	11,185 (▲61)
(1) 特定資産	11,162 (▲62)
・建物	2,408 (▲130)
・構築物	470 (▲58)
・土地	2,186 (0)
・設備等引当金	727 (130)
(2) 一般正味財産	235 (▲8)
1. 流動負債	54 (▲19)
2. 固定負債	180 (10)
III. 正味財産の部	11,910 (▲26)
1. 指定正味財産	5,475 (104)
2. 一般正味財産	6,435 (▲129)

※ 負債及び正味財産合計 12,145 (▲34) = 資産合計 12,145 (▲34)

# 企業会計と異なる会計用語の説明

## 1. 会計区分

会計区分	会計区分名	項目説明
会計区分	実施事業等会計	不特定多数を対象とした純粋な公益事業に係る会計
	その他会計	収益事業及び会員を対象とした事業に係る会計
	法人会計	旧一般会計のうち上記事業を除いた管理部門の会計
【実施事業等会計】		
	トラック運送振興事業	適正化事業及び交通・環境フェア事業 (例) 指導員人件費、イベント開催費等
	研修センター事業	研修センターにおける研修に係る諸事業 (例) 講師謝礼金、研修車両燃料費等
【その他会計】		
	共益事業	会員を対象とした諸事業 (例) 実施事業を除く大斗の交付金事業が該当する
	収益事業	物品販売等の収益事業 (例) 金庫利用料、用紙販売費等

## 2. 貸借対照表の勘定科目

貸借対照表の勘定科目	項目説明
【資産勘定科目】	
特定資産	特定の目的のため使途が制約される固定資産
近代化基金引当資産	近代化基金の現存額（以下、〇〇引当資産も同じ）
【正味財産勘定科目】	
正味財産の部	企業会計の「資本の部」に相当するもので、指定正味財産と一般正味財産がある
指定正味財産	交付金等を使途とする使途の限られた正味財産 (例) 近代化基金、施設運営基金、研セ基本財産
一般正味財産	指定正味財産以外の正味財産

## 3. 正味財産増減計算書の勘定科目

正味財産増減計算書の勘定科目	項目説明
【経常増減勘定科目】	
特定資産運用益	基金利息収入 (例) 近代化基金利息収入、施設運営基金利息収入
受取補助金等振替額	基金取崩等による、指定正味財産から一般正味財産への振替額

## 公益目的支出計画実施報告書の概要

### (1) 公益目的支出計画

一般社団法人への移行申請時点における公益目的財産を、計算上0(ゼロ)にするため、公益事業の収支で発生した赤字分を公益目的財産で充当していく計画

※ 公益目的財産：社団法人の期間中に交付金、基金等で取得した資産

(2) 公益目的財産額 1,222億5,361万2,640円【固定数値】

(3) 公益目的収支差額 ①-②+③

▲16億6,638万8,673円

① 前年度末収支差額 ▲14億6,184万3,128円(前年度の赤字)

② 今年度公益目的支出 5億9,567万5,751円(今年度の支出)

【算出根拠：実施事業等会計の経常費用】

③ 今年度公益事業収入 3億9,113万0,206円(今年度の収入)

【算出根拠：実施事業等会計の経常収益】

※ 公益目的収支差額

(1) 公益目的財産額が固定値のため、これまでの収支差額の累計である「①前年度末収支差額」に、今年度の収支差額「③収入-②支出」を合わせて「(3)今年度末の収支差額」を求める。これまでの累計に今年度分を加えるため、毎年増加する。

(4) 公益目的財産残額 [(2)-(3)]

1,05億8,722万3,967円

(5) 計画上の完了見込み 令和5年3月31日(計画変更なし)

予算対比正味財産増減計算書  
平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

元年度	一般社団法人 愛知県トラック協会	科目	予算額	決算額	差異
1		一般正味財産増減の部			
1		経常増減の部			
		(1) 経常収支			
		特定資産運用益	6,878,000	6,744,531	133,469
		貸付受取利息	6,878,000	6,744,531	133,469
		受取会費	327,063,000	336,010,800	▲ 8,927,800
		受取人會金	2,500,000	3,600,000	▲ 1,100,000
		受取自會金	321,333,000	330,465,800	▲ 9,132,800
		受取臨時會費	3,250,000	1,945,000	1,305,000
		事業収益	100,307,000	112,472,641	▲ 12,165,641
		研修等事業収益	57,500,000	71,021,842	▲ 13,521,842
		通性診療事業収益	432,000	362,000	70,000
		運行管理者講習事業収益	4,900,000	3,204,820	1,695,180
		倉庫運営収益	12,437,000	14,918,380	▲ 2,481,380
		教習事業収益	405,000	60,600	344,500
		販売収益	7,773,000	5,754,924	2,018,076
		輸送サービスセンター運営収益	10,660,000	16,967,676	▲ 307,575
		各種講習料収益	200,000	182,600	17,500
		受取補助金等	1,380,430,000	1,355,097,687	24,332,413
		受取金上補助金	1,255,142,000	1,255,142,000	0
		受取補助金等整備費	125,288,000	98,762,429	26,525,571
		雑収益	0	2,193,168	▲ 2,193,168
		雑収益	47,290,000	38,017,386	9,272,614
		雑収益	6,878,000	6,577,529	350,471
		雑収益	312,000	313,242	▲ 1,242
		業務委託収益	19,600,000	7,162,964	12,337,036
		受取賃料収益	12,000,000	15,793,663	▲ 3,793,663
		出向者人件費受入収益	8,600,000	8,220,000	380,000
		経常収益計	1,861,988,000	1,849,342,845	12,645,155
		(2) 経常費用			
		事業費	2,027,563,020	1,935,344,776	92,208,244
		役員報酬	24,585,339	23,875,708	809,631
		給料手当	239,886,536	232,640,037	6,245,498
		賞与	60,430,500	39,056,142	21,375,358
		退職給付費用	20,536,250	4,382,143	5,554,107
		法定福利費	60,383,566	46,681,368	3,702,198
		福利厚生費	2,844,810	2,846,067	499,753
		貸与引当金繰入	0	16,572,846	▲ 16,572,846
		役員退職慰労引当金繰入	0	2,569,485	▲ 2,569,485
		会議費	6,050,000	5,186,145	863,855
		旅費交通費	13,285,000	12,283,303	1,001,697
		通信費	9,343,000	8,626,666	716,336
		消耗品費	4,948,000	7,266,729	▲ 2,318,729
		修繕費	4,425,000	2,316,404	2,108,596
		図書印刷費	36,976,000	33,230,586	3,745,404
		車両管理費	18,991,000	11,938,939	7,052,079
		水道光熱費	16,445,000	17,522,459	▲ 1,077,459
		賃借料	17,656,500	13,190,711	4,465,789
		保険料	6,628,000	6,626,346	1,655
		雑費	25,849,000	10,390,536	15,458,465
		租税公課	61,718,000	69,874,190	▲ 1,843,810
		支払負担金	365,910,000	357,080,621	▲ 1,170,521
		支払助成金	497,576,000	438,653,795	58,922,205
		監査・顧問料	3,871,000	3,834,480	36,520
		寄付金	829,500	780,780	48,720
		業務委託費	137,046,000	131,180,848	5,865,152
		施設維持費	47,343,000	60,113,213	▲ 2,770,213

参考資料

(1) 予算対比正味財産増減計算書

(2) 財産目録

# 財産目録 (参考資料)

令和2年3月31日現在

一般社団法人愛知県トラック協会

科	日	予算額	決算額	差異
瓜布宣伝費	06,920,000	84,022,616	11,827,384	
販賣原価	2,483,000	3,807,632	▲ 1,318,632	
雑費	24,018,000	52,086,854	▲ 28,068,854	
減価償却費	202,470,020	246,519,877	▲ 4,049,857	
雑損	0	19,832	▲ 19,832	
管理費	33,822,926	41,213,493	▲ 7,390,567	
役員報酬	5,398,781	7,071,975	▲ 1,673,194	
給料及手当	9,819,809	9,856,371	▲ 1,035,952	
賞与	2,062,350	1,957,646	▲ 1,004,704	
退職給付費用	1,233,750	3,060,864	▲ 1,827,114	
法定福利費	2,723,066	3,113,765	▲ 380,699	
福利厚生費	155,199	276,252	▲ 121,052	
賞与引当金繰入	0	651,420	▲ 651,420	
役員退職慰労引当金繰入	0	797,982	▲ 797,982	
会議費	1,200,000	1,241,280	▲ 18,720	
旅費交通費	736,000	732,284	▲ 2,716	
通信費	1,512,000	1,522,605	▲ 10,605	
消耗品費	147,000	195,616	▲ 48,616	
修繕費	0	24,376	▲ 24,376	
図書印刷費	1,869,000	2,328,724	▲ 459,724	
車両管理費	819,000	854,613	▲ 35,613	
賃借料	73,500	72,365	▲ 1,135	
貸付料	42,000	41,465	▲ 515	
保険料	482,000	394,257	▲ 67,743	
租税公課	42,000	38,135	▲ 3,865	
支払利息	168,000	204,309	▲ 36,309	
監査・顧問料	1,029,000	1,681,520	▲ 652,520	
寄付金	220,500	220,220	▲ 280	
業務委託費	768,000	2,035,696	▲ 1,267,696	
施設維持費	0	14,873	▲ 14,873	
広告宣伝費	0	8,228	▲ 8,228	
雑費	1,029,000	722,503	▲ 306,497	
減価償却費	3,157,850	3,543,790	▲ 385,940	
貸倒引当金繰入	68,000	1,659	▲ 66,341	
経常費用計	2,061,375,946	1,976,558,269	▲ 84,817,677	
評定資産評価増減額	▲ 199,387,946	▲ 127,216,424	▲ 72,171,522	
特定資産評価増減等	0	▲ 456,000	▲ 456,000	
投資有価証券評価増減	0	▲ 844,000	▲ 844,000	
評価損益等計	0	▲ 800,000	▲ 800,000	
当期経常増減額	▲ 199,387,946	▲ 128,015,424	▲ 71,372,522	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用計				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
前期当前期正味財産増減額	▲ 199,387,946	▲ 128,015,424	▲ 71,372,522	
法人税、住民税及び事業税	0	1,473,923	▲ 1,473,923	
当期一般正味財産増減額	▲ 199,387,946	▲ 129,489,347	▲ 69,898,599	
前期一般正味財産増減額	6,635,469,585	6,554,471,335	▲ 71,208,250	
一般正味財産増減高	6,436,081,639	6,434,987,988	▲ 1,093,651	
II 指定正味財産増減の部				
指定正味財産増減の部	120,000,000	120,000,000	0	
受取補助金等	120,000,000	120,000,000	0	
受取地方助成金	0	0	0	
特定資産評価損額	0	13,636,000	▲ 13,636,000	
一般正味財産増減	0	2,193,168	▲ 2,193,168	
当期指定正味財産増減額	120,000,000	104,170,842	▲ 15,829,158	
指定正味財産増減高	5,367,976,488	5,371,730,580	▲ 3,754,092	
指定正味財産増減高	5,487,976,488	5,475,901,422	▲ 12,075,066	
III 正味財産期末残高	11,924,068,127	11,910,583,410	▲ 13,474,717	

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
現金	現金手許有高	運転資金として	2,205,199
預金	普通預金		943,405,839
	三菱UFJ銀行 滝子支店		770,734,456
	三菱UFJ銀行 開田支店		9,156,139
	三菱UFJ銀行 三好支店		80,287,090
	三井住友銀行 名古屋支店		83,248,146
定期預金	商工組合中央金庫 名古屋支店		3,000,000
	三菱UFJ銀行 三好支店		3,000,000
未収金	研修、献金会料金		2,579,785
	源泉所得税 利息収入		9,000
	自動販売機販売手数料	実施事業等会計に係る未収額	8,078
	施設費手帳		108,900
	3月分「娯楽代」		19,800
	全ト協利子補助助成金(非営事業)		1,956,149
	全ト協環境対応車導入促進助成金		97,000
	自動販売機販売手数料		13,977
	電気代(会館運営 改善協通)	その他会計に係る未収額	11,270
	用紙回着上、計量証明料他		1,614,229
	事務所、会議室利用料		20,790
	未収会費他	法人会計に係る未収額	32,049
貸倒引当金			▲ 1,917
未収収益	会費に対するもの	会費の未収額にかかるとするもの	
	商工債券超過利息		33,250
	集積社債超過利息	実施事業にかかるとする未収収益	104,000
商品	近代化推進基金商工債券超過利息	その他会計に係る未収額	1,784,167
	各種債票類	その他会計に係る未収額である。	722,155
貯蔵品	印手、収入印紙代	実施事業保有の資産である。	59,804
	ガソリン、軽油代		1,482,685
仮私金	収入印紙、印手、ハガキ代	法人会計に係る資産である。	135,318
	機械設備業務員業務費		58,300
	公用車リース代	業務員業務費	43,450
	会計ソフトウェア年間保守料		82,565
	求人媒体広告掲載費		330,000
	駐連席代	法人会計に係る令和元年度経費	66,000
	運営記録簿保液料		26,800
流動資産合計			960,008,232

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
特定資産 土地	89,704.92㎡	実施事業等会計の資産として使用している。	959,927,459
	みよし市福谷町西ノ瀬21-127 他 15,804.92㎡ 名古屋市瑞穂区新開町1301 他	その他会計の資産として使用している。	1,226,368,236
建物	みよし市福谷町西ノ瀬21-127 他	実施事業等会計の資産として使用している。	1,853,973,629
	名古屋市瑞穂区新開町12-6 他	その他会計の資産として使用している。	549,309,553
構築物	みよし市福谷町西ノ瀬21-127 他	実施事業等会計の資産として使用している。	451,064,307
	名古屋市瑞穂区新開町12-6 他	その他会計の資産として使用している。	18,676,028
車両運搬具	パトロール指導車 5台他	実施事業等会計の資産として使用している。	84,994,785
	公用車 1台	法人会計の資産として使用している。	1
什器備品	プロジェクター	実施事業等会計の資産として使用している。	59,636,199
	各エネモ行研修 研修用パソコン他 日産家電機、ロビーチェア、エアコン 運転適性診断機器 他	その他会計の資産として使用している。	27,690,682
リース資産	iPad収納保管庫 他	法人会計の資産として使用している。	1,649,619
	トランクスケール	その他会計の資産として使用している。	9,564,326
ソフトウェア	会費管理サーバー 1台	法人会計の資産として使用している。	2,850,552
	巡回データベース 他 研修管理システム	実施事業等会計の資産として使用している。	15,582,126
退職給付引当資産	FCM公益法人会計ソフト	その他会計の資産として使用している。	4,815,036
	普通預金 三菱UFJ銀行 滝子支店	法人会計の資産として使用している。 労働者目・職員に對する退職金の支払に備えたもの	504,914 172,410,969

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
特定資産 近現代基金 引当資産	投資有価証券 いんすいり号利付商工債券 他	利付商工債券は、その運用益を定期預金利息と共にその他会計の財源として使用している。	4,984,832,000
	近代化定額積立金 商工組合中央金庫 名古屋市店	利付商工債券は、その運用益を定期預金利息と共にその他会計の財源として使用している。	11,343,000
引当資産	投資有価証券 いんすいり号利付商工債券 他	利付商工債券は、その運用益を定期預金利息と共にその他会計の財源として使用している。	199,751,000
	施設運営定期預金 商工組合中央金庫 名古屋市店	施設運営定期預金は、その運用益を定期預金利息と共にその他会計の財源として使用している。	3,571,323
その他 固定資産	三菱UFJ銀行 三好支店 投資有価証券 いんすいり号利付商工債券 他	三菱UFJ銀行 三好支店に保有する投資有価証券は、その運用益を定期預金利息と共にその他会計の財源として使用している。	9,600,000
	三菱UFJ銀行 滝子支店 施設 6本	法人会計保有の資産である。	32,300
高 額 保 証 金	愛ト協ロゴ 他	その他会計の資産である。	1,953,150
	警備隊保証金 名古屋エムケイ保証金	その他会計の資産である。	100,000
預 託 金	東阿リサイクル費用	法人会計保有の資産である。	200,000
	投資有価証券 第27回黒田担保社 (劣後債約付)	実施事業等会計に係る資産として管理されている。	153,120
固定資産合計	投資有価証券 日本トラツク興業 (株) 株券	運用益を法人会計の財源として使用している。	20,372,000
	固定資産合計		11,185,158,583
資産合計	資産合計		12,145,166,815
	(流動負債)		
未 払 金	第27期物流大学校贈与了奨励金	実施事業等会計に係る未払額	3,100,000
	法人市民税 その他2、3月分経費 計20件 近代化基金贈与了補給金(1~9月分) 全ト協環境対応車導入促進助成金		50,000 1,299,993 7,838,544
前 受 金	残高証明書発行手数料 ナスバネット西用光回線 (明後センター)		97,000 2,760
	複合機利付料 (研修センター) 会費管理費 計6件 センター諸経費 計8件 法定福利費(賞与引当金分) 2、3月分他経費 計26件	その他会計に係る未払額	11,000 1,022,936 511,119 3,187,381
前 受 金	借費税 令和2年度研修料金 郵便料	法人会計に係る未払額 実施事業等会計に係る預り金 その他会計に係る預り金	2,501,193 2,605,700 5,608,170 1,500

## 定款の変更 (案)

## 第14回 通常総会提出議案について

〔令和2年6月18日 (木)〕

新	旧
<p>第 4 章 総会</p> <p>(開催)</p> <p>第 13 条 総会は、定時総会として<u>毎年 6 月に開催</u>するほか、必要がある場合に臨時総会を開催する。</p> <p>(事業計画および収支予算)</p> <p>第 40 条 本協会の事業計画書及び収支予算書については、毎事業年度の開始の日の前日までに会長が作成し、<u>理事会の承認を受けなければならない</u>。これを変更しようとするときも同様とする。</p>	<p>第 4 章 総会</p> <p>(開催)</p> <p>第 13 条 総会は、定時総会として<u>毎年 3 月と 6 月に 2 回開催</u>するほか、必要がある場合に臨時総会を開催する。</p> <p>(事業計画および収支予算)</p> <p>第 40 条 本協会の事業計画書及び収支予算書については、毎事業年度の開始の日の前日までに会長が作成し、<u>理事会の決議を経て、3 月の定時総会で承認を受けなければならない</u>。これを変更しようとするときも同様とする。</p>

第 1 号議案 令和元年度 事業報告について

第 2 号議案 令和元年度 財務諸表の承認について

第 3 号議案 定款の変更について

第 4 号議案 理事の変更選任について

# 第14回 通常総会

令和2年6月18日(木)11時00分から名古屋東急ホテルで開催

## ◆ 会員総数、出席者数等及び議決権数（会員＝法律上の社員）

会員総数	2,635 社（議決権数 2,635 個）
出席会員数	13 社（議決権数 13 個）
委任状提出数	57 社（議決権数 57 個）
議決権行使書提出数	1,578 社（議決権数 1,578 個）
計	1,648 社（議決権数 1,648 個）

## ◆ 出席数の報告と開会

畔柳常務理事の司会進行により定数と出席数等の報告を行い、定款第17条第1項の定めるところにより、本日の付議議案の決議に支障が無い出席が得られたため、会議の有効成立を告げた。

## ◆ 議長及び議事録署名者の選任

司会から、定款第15条の規定に基づき議長の選出を議場に諮ったところ、寺岡会長が議長に選出された。そこで議長が議事録署名人の選出を議場に諮ったところ、「議長一任」の声があり、議場もこれを承認したので議長は次の2名を選出した。

南星キャリアックス 株式会社	代表取締役	市川 重人
株式会社 豊福組運輸	代表取締役	恒川 浩一

## ◆ 議事の概要と結果

議長より、第1号議案「令和元年度事業報告について」、第2号議案「令和元年度財務諸表の承認について」は関連があるため、一括上程したい旨の提案を議場に諮ったところ、「異議なし」の声と共に、全員拍手をもって賛意を表明した。

### ● 第1号議案 令和元年度事業報告について

牟田専務理事より資料に基づき、令和元年度事業報告の内容について説明した。  
詳細については資料に記載のとおり。

### ● 第2号議案 令和元年度財務諸表の承認について

牟田専務理事より資料に基づき、令和元年度の決算並びに「公益目的支出計画実施報告書」について説明した。

詳細については資料に記載のとおり。

引き続き、去る令和2年5月21日に実施した監査結果について、監事を代表して馬淵監事（株式会社宇徳組）より報告された。

議長が議場に諮ったところ「異議なし」の声と共に、全員拍手をもって賛意を表明した。  
議長は、委任状及び議決権行使書を含め、本議案は過半数の賛成により承認可決された旨を述べた。

● 第3号議案 定款の変更について

河合常務理事より資料に基づき、定款の変更について説明した。  
詳細については資料に記載のとおり。

議長が議場に諮ったところ「異議なし」の声と共に、全員拍手をもって賛意を表明した。  
議長は、委任状及び議決権行使書を含め、本議案は過半数の賛成により承認可決された旨を述べた。

● 第4号議案 理事の変更選任について

河合常務理事より資料に基づき、理事の変更選任について説明した。  
詳細については資料に記載のとおり。

議長が議場に諮ったところ「異議なし」の声と共に、全員拍手をもって賛意を表明した。  
議長は、委任状及び議決権行使書を含め、本議案は過半数の賛成により承認可決された旨を述べた。

● 閉 会

第14回通常総会を閉会した。

※出席予定であった来賓の皆様から別紙の祝辞を頂戴した。

## 中部運輸局長 坪井 史憲 様 祝 辞



中部運輸局長の坪井でございます。

平素は、国土交通行政、とりわけトラック行政に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本日、一般社団法人愛知県トラック協会の第14回通常総会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

先ずは、新型コロナウイルス感染症の影響下で、エッセンシャルワーカーとして多くのトラックドライバーの皆様が、消費者や荷主のニーズに日々応えていただいていることに心から敬意を表します。

申し上げるまでもなく、トラック運送事業は国内物流の9割を担う基幹産業として、我が国の経済成長と国民生活を支える重要な社会インフラであり、昨今の人口減少や少子高齢化を背景とした担い手不足の問題や働き方改革の推進に適切に対処しながら、持続的・安定的な輸送サービスを提供し続けることが求められています。

こうした状況を踏まえ、一昨年12月に貨物自動車運送事業法の一部改正が行われ、経済活動と国民生活を支えるトラック運送業界の健全な発達のため、「規制の適正化」や「荷主対策の深度化」を進めるとともに、本年4月には「標準的な運賃の告示」を実施したところでございます。令和6年に実施される労働時間の上限規制に対応するにあたり、運賃や賃金の水準が低い状況の中で労働時間だけが短縮されれば、運転者の確保が今以上に困難となるなど担い手不足が更に深刻化し、ひいては経済活動や国民生活に大きな支障を来すこととなります。特に現在は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、厳しい経営局面に立たされている荷主企業が、物流コストの引下げに向かうことも想定されますが、適正運賃の収受は、我々国民の生活にも直結する極めて重要な問題であり、標準的運賃告示を荷主交渉のツールとして有効に活用できるよう、業界一丸となって取り組んでいただきたいと思います。新型コロナウイルスが収束しても早期の物流ニーズ回復は難しく、暫くは影響が続くのではないかという声がある一方で、外出自粛の影響で個人宅配が急激な増加を見せるなど、トラック運送業界を取り巻く環境は大変厳しい状況と認識しています。労働条件改善や適正運賃・料金収受に向けたこれまでの取組が元に戻ることはないよう、中部運輸局といたしましても、業界の皆様や関係省庁と十分に連携を図りながら、持続可能な物流の実現を目指した取組を推進して参ります。

また、自動車運送事業の最大の使命であり、最優先で取り組むべきもの、それは「輸送の安全の確保」でございます。中部運輸局では、「事業用自動車総合安全プラン2020」を反映した「中部ブロック取組計画」を策定して事故削減目標数値を掲げ、目標達成に向けた重点施策を設定して業界の皆様とともに取り組んでいますが、昨年の飲酒運転による事業用トラックの交通事故件数は、当該プランを策定した2016年以降最多となっており、本年に入りましても昨年同時期を上回るペースで発生しています。トラック運送業界の皆様におかれましては、重大事故に繋がる飲酒運転や過労運転、過積載運行等の根絶に向け、日頃の運行管理と車両管理、運転者に対する指導・教育を徹底していただきますよう、改めてお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束と、一般社団法人愛知県トラック協会並びに会員事業者の皆様のご発展、ご繁栄を祈念申し上げ、甚だ簡単ではございますが、私からのご挨拶とさせていただきます。

## 愛知県知事 大村 秀章 様 祝 辞

一般社団法人愛知県トラック協会の第14回通常総会が開催されましたことを、心からお喜び申し上げます。

寺岡会長を始め会員の皆様におかれましては、日頃から県政の推進に格別の御理解と御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。



さて、新型コロナウイルス感染症感染拡大による物流への影響は甚大であり、トラック運送業界は、荷主からのキャンセルによる運送収入の減少など、厳しい経営環境におかれているものと認識しております。

このような状況においても、貴協会は、若年・女性労働者等の人材確保の充実に取り組まれるとともに、研修センターでの人材育成、標準的な運賃の告示に伴う適正取引の推進など、物流の要であるトラック運送業界を将来にわたって支える事業に積極的に取り組んでおられ、大変心強く感じております。

また、「事業用自動車総合安全プラン2020」の施策展開による交通事故の削減や、災害時の緊急物資輸送という社会的使命を果たすため、愛知県を始め各自治体との総合防災訓練への連携など、県民の皆様の防災・安心安全に繋がる取組にも力を入れていただいております。心から感謝申し上げます。

トラック運送業界は、物流面から、本県の地域経済や県民生活を支える重要な役割を果たしておられます。会員の皆様におかれましては、今後とも、安全・安心な輸送を基本に、地域経済の発展に御尽力をいただきますことをお願い申し上げます。

結びに、愛知県トラック協会の益々のご発展と、本日お集まりの皆様の無事故、御健勝、そして御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

## 愛知労働局長 木原 亜紀生 様 祝 辞

一般社団法人愛知県トラック協会の第14回通常総会が開催されますことを心よりお喜び申し上げます。また、愛知県トラック協会の皆様方には、日頃から労働行政に対し、格別のご理解、ご協力をいただいていることに、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



新型コロナウイルス感染症の国内感染の拡大をうけ、道路貨物運送業界におかれましても、工業製品の輸送量の激減により車両の稼働率が低下する一方で、外出自粛により一般宅配の需要は増え、仕分け作業を含めた物流が多忙となっているなど経営環境が大きく変化していると認識しています。

そのような中、協会の皆様におかれましては、感染症の拡大といった情勢下であっても、生活物資の輸送など、社会活動を支えるライフラインの維持のためにご尽力いただいていることに深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止につきましては、厚生労働省におきましても「職場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのチェックリスト」を作成しており、基本的な対策の実施状況をご確認いただくことをお願いしているところです。

このような状況の中で、昨年4月より働き方改革関連法が順次施行され、現在、時間外労働の上限規制の適用が猶予されている自動車運転の業務につきましても令和6年4月から同規制が適用されることとなります。

皆様方におかれましては、法律の円滑な適用に向けて準備していただくとともに、愛知労働局といたしましても、特に中小企業・小規模事業者が抱える様々な課題に対応するため「愛知働き方改革推進支援センター」等の関係機関と連携を図りつつ、専門家の個別訪問による相談、セミナー等の実施、好事例の紹介等の支援を行うことで、長時間労働の是正に向けた自主的な取り組みを促してまいります。

また、大企業・親事業者の働き方改革に伴う下請等中小事業者へのいわゆる「しわよせ」防止に向けて社会全体の気運の醸成を図るとともに、荷主と運送事業者の両方で労働時間削減に取り組むための「取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン」や「改善ハンドブック」の周知に取り組んでまいります。

愛知県内における全業種の労働災害による死傷者数（休業4日以上）は、平成28年から平成30年まで3年連続で増加していましたが、令和元年は6986人と対前年比131人（1.84%）の減少となりました。死亡災害についても平成30年の46件から令和元年は45件と1人の減少となっております。

しかしながら、道路貨物運送事業においては、令和元年の死傷者数（休業4日以上）は、平成30年の1024人から32人の増加、死亡災害については5人で前年と同じとなっており、労働災害の低減ということも大きな課題となっておりますので、皆様方の安全管理活動への一層の取り組みをお願いいたします。

現在は非常に厳しい情勢ではございますが、働き方改革関連法を適用するための準備を進めていただき、安心・安全な職場づくりを通じて陸上貨物運送事業が魅力のある職場になることを願うとともに、貴協会の今後のますますのご発展と会員企業様及び従業員の皆様のご健勝を心より祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

## 愛知県警察本部 交通部長 石川 智之 様 祝 辞



平素、皆様方には交通安全活動を始め、様々な警察活動に格別の御理解と御協力を賜っておりますことに対しまして、厚く御礼を申し上げます。

本年も引き続き「交通死亡事故の抑止～減少傾向の定着～」を最重要課題の一つに掲げ、各種事故防止活動に取り組んでいるところでありますが、県内の交通事故情勢を申し上げますと、年初から高齢の歩行者、自転車利用者の重大事故が多発し、5月末までに交通事故でお亡くなりになられた方は68人で、前年同期と比べて17人の増加となっております。

また、交通事故死者数の全国順位も、4月22日以降ワースト1位が続いており、大変厳しい状況となっております。

本年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年とは異なる車や人の流れが生じていることなどもあり、交通事故全体としては減少しております。その理由として、感染症の感染拡大に伴う外出自粛により、交通量が減少したことや、外出する方そのものが減少したことが影響したものと考えております。

一方で、交通死亡事故は増加しており、特に、最高速度違反を原因とする死亡事故が多発しております。通常であれば渋滞する場所や時間帯でも交通量が少なく、スムーズに流れていることから、速度が出やすいといった環境となり、全体的な車両の走行速度の上昇が、その要因の一つと考えております。

こうした情勢の中、5月末までに事業用貨物自動車に関係した交通事故について申し上げますと、交通死亡事故が10件発生し、そのうち4件が第一当事者として関与した事故となっておりますが、昨年の同時期（13件の交通死亡事故のうち7件が第一当事者として関与した事故）と比べて減少しており、これもひとえに、皆様様の平日頃からの交通安全に対する意識の高さと地道な努力によるものであり、感謝申し上げます。

この交通事故の減少傾向を継続すべく、安全運転管理を今後も一層推進していただきますようお願い申し上げます。

県警察では、多発する交通死亡事故の抑止を図るため、6月を「交通死亡事故多発に伴う交通街頭活動を強化する期間」と定め、飲酒運転や最高速度違反等の交通指導取締りを始めとした街頭における各種活動を強化しているところでありますが、過日、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための緊急事態宣言が解除され、徐々に日常生活が戻りつつある中で、再び交通流が変化することによる予期せぬ交通事故の発生が懸念されます。

皆様方には、このような背景を御賢察いただき、引き続き、安全最優先の運行管理に向けた取組と、時間にも心にもゆとりを持った運転の実践に一層注力していただくとともに、7月1日から実施される「トラック・セーフティ・ラリー」期間を中心に、従業員に対しまして制限速度の遵守や、運転中の脇見防止、車間距離の確保等について、御指導いただきますようお願い申し上げます。

結びになりますが、貴台を始め協会員の皆様方の益々の御発展と御健勝、御多幸を心から祈念申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。

## 公益社団法人全日本トラック協会 会長 坂本 克己 様 祝 辞

本日は、一般社団法人愛知県トラック協会第14回通常総会が開催され、誠におめでとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染の拡大の影響を受け、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が1年延期されるなど、社会及び経済に大変な影響を及ぼしています。全日本トラック協会にて実施している最新の景況感調査によると、今後の見通しは、燃料コストの負担は軽減されるものの、新型コロナウイルス感染症拡大によるトラック運送業界への影響は甚大で、極めて厳しい経営環境が見込まれる状況となっています。



全ト協では、新型コロナウイルスの影響に鑑み、3月には政権与党に対して「資金手当への支援」、「雇用調整助成金の充実」などについて要望を行いました。

また、4月には全ト協に「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、指定公共機関として緊急支援物資輸送に備えるとともに、会員事業者の感染症拡大防止及び経営支援に取り組んでいます。

特に、5月13日には、会員事業者への追加の緊急経済支援対策として、①中央近代化基金「激甚災害融資」の公募枠を50億から100億へ倍増、②全ト協会員への令和2年度5月～9月の5ヶ月分の会費の免除、③「全国関連事業推進助成金」として、都道府県トラック協会がマスクや手袋をはじめとした感染症拡大防止対策用品等を購入する場合の特別支援として2億円の措置、④全国紙及びブロック紙へのエッセンシャルワーカー業務に取り組む全国のトラックドライバーへの応援と国民からの支援に対する感謝の意を表する意見広告を実施したところです。

トラック運送業界は「人」で成り立っており、現場で働くトラックドライバーの皆様の活躍がなければ、我々の業界は立ち行かなくなります。ドライバー各位が自信と誇りを持って働き、豊かな暮らしが築けるよう最善を尽くしてまいります。

令和2年度は、働き方改革の完遂、またそれに並行し人材確保への対応を行うため、改正貨物自動車運送事業法で規定された「規制の適正化」、「荷主対策の深度化」、4月に告示された「標準的な運賃の告示制度の導入」などに加えて、トラック運送事業に必須のツールである道路関係及び安全・健康起因関係の施策に重点をおいて対応したいと考えています。

特に、「輸送の効率化」、「安全確保の向上」、「環境保全の改善」の3つに影響を与える道路の積極的な活用については、より使いやすい道路の実現を目指し、重要物流道路の更なる拡充や全国の道路の機能強化及び大口多頻度割引の拡充等高速道路料金の充実等について、積極的な働きかけを行っていく所存です。

今後とも、全日本トラック協会に対し、ご支援、ご協力を賜りたく、何卒よろしくお願いいたします。

以上

**\*\*\* 令和元年度交通安全表彰受賞者の皆さま \*\*\***

**おめでとうございます！！**

○ 受賞総数

功 勞 会 員・・・対象年度において積極的な交通安全活動への取り組みが認められた会員 (57社)  
無 事 故 認 定・・・対象年度において1年間無事故であった会員 (221社)  
交 通 安 全 銅 賞・・・3年間連続で無事故認定を受けた会員 (40社)  
交 通 安 全 銀 賞・・・5年間連続で無事故認定を受けた会員 (21社)  
交 通 安 全 金 賞・・・7年間連続で無事故認定を受けた会員 (14社)  
10年連続無事故特別賞・・・10年間連続で無事故認定を受けた会員 (4社)

**名古屋第一支部**

■功労会員

No.	事業 者 名	No.	事業 者 名
1	旭 運 輸 株 式 会 社	4	有限会社東海パッケージ
2	磯 部 興 業 株 式 会 社	5	野 村 運 送 株 式 会 社
3	大 進 運 輸 株 式 会 社		

■10年連続無事故特別賞受賞会員

No.	事業 者 名
1	新 東 海 株 式 会 社

■交通安全金賞受賞会員

No.	事業 者 名	No.	事業 者 名
1	大 竹 運 輸 株 式 会 社	3	ダイシン商事株式会社
2	有限会社サンケイエクスプレス	4	日 急 株 式 会 社

■交通安全銅賞受賞会員

No.	事業 者 名	No.	事業 者 名
1	有 限 会 社 大 治 産 業	3	株 式 会 社 鈴 木 組 陸 運
2	嵯 峨 運 送 株 式 会 社	4	株 式 会 社 白 青 舎 ロ ジ コ ム

■無事故認定会員

No.	事業者名	No.	事業者名
1	アトラスカーゴサービス株式会社	14	中部タイムス物流株式会社
2	アペニンコーポレーション株式会社	15	有限会社東海パッケージ
3	猪高運輸株式会社	16	有限会社東海ライン
4	宇徳運搬株式会社	17	巴運輸株式会社
5	有限会社菊地運輸	18	有限会社中村輸送
6	吉正運輸倉庫株式会社	19	野村運送株式会社
7	鬼頭運輸倉庫株式会社	20	株式会社マルカワ
8	紀北運輸有限会社	21	株式会社マルシゲ商会
9	株式会社近鉄トランステック中部オペレーションセンター	22	名西運輸株式会社
10	ケーラインサービス株式会社	23	山本運輸倉庫株式会社
11	株式会社浚洗工業	24	株式会社ライフサポート
12	大進運輸株式会社	25	レゴロジスティクス株式会社 新名古屋営業所
13	有限会社田島梱包		

## 名古屋第二支部

### ■功勞会員

No.	事業者名	No.	事業者名
1	オカベ物流株式会社	4	名古屋市場運輸株式会社
2	近藤運送株式会社	5	丸太運輸株式会社
3	大輪運輸株式会社		

### ■10年連続無事故特別賞受賞会員

No.	事業者名	No.	事業者名
1	唐津運輸株式会社	2	天真運輸株式会社

### ■交通安全金賞受賞会員

No.	事業者名
1	大成運送株式会社

### ■交通安全銀賞受賞会員

No.	事業者名	No.	事業者名
1	中発運輸株式会社	3	有限会社南野物産急送
2	株式会社ファントランスポート	4	菱大運輸株式会社

### ■交通安全銅賞受賞会員

No.	事業者名
1	太陽陸運株式会社

### ■無事故認定会員

No.	事業者名	No.	事業者名
1	愛知車輛興業株式会社	6	南星キャリックス株式会社
2	岩本運輸合資会社	7	星崎運輸株式会社
3	金森自動車興業株式会社	8	株式会社名孝高速
4	中京急送株式会社	9	森川運輸株式会社
5	株式会社ティラドロジスティクス		

## 名古屋第三支部

### ■功勞會員

No.	事業者名	No.	事業者名
1	青葉運輸株式会社	4	東山株式会社
2	協和陸運株式会社	5	名古屋運輸株式会社
3	東亞興業株式会社		

### ■交通安全金賞受賞會員

No.	事業者名
1	剣運輸有限会社

### ■交通安全銀賞受賞會員

No.	事業者名	No.	事業者名
1	鈴與自動車運送株式会社 名阪支店 名古屋営業所	3	菱倉運輸株式会社 名古屋支店
2	東山株式会社		

### ■交通安全銅賞受賞會員

No.	事業者名	No.	事業者名
1	株式会社KOWA LINE	3	マストアークス株式会社
2	新和運輸株式会社	4	菱自運輸株式会社 名古屋営業所

### ■無事故認定會員

No.	事業者名	No.	事業者名
1	大西運輸株式会社	5	株式会社ダイコー
2	有限会社紀友興業	6	柘運送株式会社
3	呉産業有限会社	7	株式会社南部企業
4	三孔流通サービス株式会社	8	菱洋運輸株式会社

## 名古屋第四支部

### ■功労会員

No.	事業者名	No.	事業者名
1	三新運輸株式会社	4	株式会社丸鈴運輸
2	祖父江運輸株式会社	5	吉田運送株式会社
3	ブルースカイロジスティクス株式会社		

### ■10年連続無事故特別賞受賞会員

No.	事業者名
1	三雪運輸株式会社

### ■交通安全金賞受賞会員

No.	事業者名	No.	事業者名
1	株式会社栄工社	2	丸八梱包株式会社

### ■交通安全銀賞受賞会員

No.	事業者名	No.	事業者名
1	新愛光運輸有限会社	2	ブルースカイロジスティクス株式会社

### ■交通安全銅賞受賞会員

No.	事業者名	No.	事業者名
1	株式会社安達運輸	7	中部運輸株式会社
2	上地運輸株式会社	8	株式会社東海産業
3	国際空輸株式会社 名古屋支店	8	福岡倉庫株式会社 名古屋支店
4	小寺商運株式会社 中部営業所	10	丸全中部物流株式会社
5	株式会社杉商	11	株式会社名西運輸
6	中京ライナー株式会社		

■無事故認定会員

No.	事業者名	No.	事業者名
1	有限会社愛都運輸	16	株式会社豊福組運輸
2	愛陸梱包急配株式会社	17	株式会社西運
3	安達包運倉庫株式会社	18	日通岐阜運輸株式会社
4	有限会社石野商会	19	株式会社ネクスター
5	株式会社宇徳組	20	服部鋼運株式会社
6	株式会社OTSUKA	21	パナシアロジ株式会社
7	蔵前運輸倉庫株式会社	22	林運送株式会社
8	此花運輸株式会社	23	平野運輸有限会社
9	三大運輸有限会社	24	富士サービス株式会社
10	昭和橋急配株式会社	25	株式会社丸二運送
11	有限会社シンコーキャリー	26	名昭運輸株式会社
12	有限会社杉浦運輸	27	山路運送株式会社
13	清栄運輸株式会社	28	有限会社レーベンロジテック
14	祖父江運輸株式会社	29	脇田運輸倉庫株式会社
15	株式会社大福		

## 尾 東 支 部

### ■功労会員

No.	事 業 者 名	No.	事 業 者 名
1	愛北ロジック株式会社	6	TGロジスティクス株式会社
2	大橋運輸株式会社	7	日東運送株式会社
3	尾張旭運輸株式会社	8	株式会社ホーコー
4	有限会社神田運輸	9	堀尾物産株式会社
5	亀甲通運株式会社		

### ■交通安全銀賞受賞会員

No.	事 業 者 名
1	丸五運送株式会社

### ■交通安全銅賞受賞会員

No.	事 業 者 名	No.	事 業 者 名
1	オリソー物流株式会社 名古屋支店	2	シン運輸株式会社

### ■無事故認定会員

No.	事 業 者 名	No.	事 業 者 名
1	興濃運輸有限会社	6	有限会社高村事業所
2	坂部名古屋有限会社	7	株式会社名産梱包
3	三機陸運株式会社	8	有限会社山忠運輸
4	三宝運輸株式会社	9	株式会社ライトトランスポート
5	高橋運送合資会社	10	有限会社レオ

## 西 支 部

### ■功労会員

No.	事 業 者 名	No.	事 業 者 名
1	一宮急配株式会社	6	永松運送有限会社
2	有限会社小林運輸	7	株式会社ハセコン運輸 名古屋営業所
3	佐屋運輸株式会社	8	濱嶋運輸有限会社
4	株式会社ストライヴ・プロモーション	9	丸金運輸株式会社
5	株式会社大栄工業	10	名鉄急配株式会社

### ■交通安全銅賞受賞会員

No.	事 業 者 名	No.	事 業 者 名
1	いっしん総合サービス株式会社	3	丸輪運送株式会社
2	有限会社宇佐美共栄社		

### ■無事故認定会員

No.	事 業 者 名	No.	事 業 者 名
1	一宮運輸株式会社 物流センター名古屋	7	株式会社トレードトラスト 名古屋共配支店
2	稲沢運輸株式会社	8	阪神トランスポート株式会社
3	有限会社カンダトラスト	9	名南エキスプレス株式会社
4	有限会社小林運輸	10	ヤマザキマザック運輸株式会社
5	西條商事株式会社	11	山利興業有限会社
6	東海物流株式会社		

## 知 多 支 部

### ■功労会員

No.	事 業 者 名	No.	事 業 者 名
1	亀崎運輸合資会社	4	鳴海急送株式会社
2	JFE物流中部株式会社	5	有限会社間瀬運送
3	株式会社セイリョウライン	6	有限会社丸田運送店

### ■交通安全銀賞受賞会員

No.	事 業 者 名	No.	事 業 者 名
1	石田運送株式会社	3	東山物流株式会社
2	岡田運輸株式会社 名古屋支店	4	名豊運輸株式会社

### ■交通安全銅賞受賞会員

No.	事 業 者 名
1	アイチ物流株式会社

### ■無事故認定会員

No.	事 業 者 名	No.	事 業 者 名
1	アース・セーフティ・サービス株式会社	7	豊明運輸株式会社
2	愛協産業株式会社	8	名古屋臨海通運株式会社 名古屋南貨物営業所
3	愛生運輸株式会社	9	有限会社丸田運送店
4	三糧輸送株式会社 知多営業所	10	有限会社丸直運送
5	株式会社進栄	11	丸半運輸株式会社
6	有限会社常滑荷役	12	菱東運輸株式会社

## 西 三 支 部

### ■功勞会員

No.	事 業 者 名	No.	事 業 者 名
1	愛陸急送株式会社	4	大盛運輸株式会社
2	春日運送株式会社	5	東海運輸株式会社
3	株式会社クリエイト	6	丸定運輸株式会社

### ■交通安全金賞受賞会員

No.	事 業 者 名	No.	事 業 者 名
1	春日運送株式会社	4	株式会社サンワ
2	河合商運有限会社	5	東海運輸株式会社
3	株式会社ケー・ツー		

### ■交通安全銀賞受賞会員

No.	事 業 者 名
1	株式会社ユーティター・サービス

### ■交通安全銅賞受賞会員

No.	事 業 者 名	No.	事 業 者 名
1	エスケイライン株式会社	6	光徳運輸株式会社
2	有限会社オオシマ	7	鳥居運送株式会社 岡崎支店
3	株式会社河村産業	8	有限会社中鋳物流
4	衣浦南陸運株式会社	9	藤久運輸倉庫株式会社
5	県南陸運株式会社 岡崎営業所	10	株式会社前寛商事

■無事故認定会員

No.	事業者名	No.	事業者名
1	愛陸急送株式会社	29	有限会社昭和運輸
2	株式会社A.モンライン	30	株式会社鈴商
3	安城高速運輸株式会社	31	有限会社スズタニ運送
4	生田産業株式会社	32	株式会社大弘重機運輸
5	株式会社井上運輸	33	有限会社大新運輸
6	上野輸送株式会社 碧南事業所	34	大盛運輸株式会社
7	株式会社内山	35	太平産業株式会社
8	エイト商会株式会社	36	株式会社ダイヤライン
9	有限会社エキスプレス	37	大洋荷役株式会社
10	株式会社エクスプレス知立	38	株式会社タナカ
11	エムケー物流株式会社	39	T B物流サービス株式会社
12	株式会社オーワ物流事業部	40	有限会社デリッシュ
13	岡崎通運株式会社	41	東電運輸株式会社 豊田営業所
14	岡崎流通サービス株式会社	42	トヨタ倉庫運輸株式会社
15	岡大エキスプレス有限会社	43	豊鉄運輸株式会社
16	岡通運輸株式会社	44	有限会社ニシカワ運輸
17	オレンジサービス合同会社	45	丹羽商株式会社
18	刈急運輸株式会社	46	株式会社ハイライン
19	刈谷配送株式会社	47	株式会社東端運輸
20	株式会社クリエイト	48	株式会社マサフミ
21	小出運送株式会社	49	丸栄ニューウエーブ株式会社 本社営業所
22	株式会社寿陸運	50	丸定運輸株式会社
23	コネクト物流株式会社	51	宮崎運輸株式会社
24	三栄運輸株式会社	52	有限会社森乳岡崎販売
25	株式会社サンエス	53	山城急配株式会社
26	三光陸運株式会社	54	株式会社やまひろ運輸
27	松栄運輸株式会社	55	株式会社ユーネットランス
28	城北運輸株式会社		

## 東 三 支 部

### ■功労会員

No.	事 業 者 名	No.	事 業 者 名
1	イノチオ物流株式会社	4	ホイテクノ物流株式会社
2	中央輸送株式会社	5	株式会社マイシン
3	有限会社中村急送	6	ミナト運輸株式会社

### ■交通安全金賞受賞会員

No.	事 業 者 名
1	愛豊重機株式会社

### ■交通安全銀賞受賞会員

No.	事 業 者 名	No.	事 業 者 名
1	株式会社アイ・エイチサービス	4	知多産業運輸株式会社
2	有限会社今川建材	5	有限会社ツツイコーポレーション
3	協進運輸株式会社	6	東海急送株式会社

### ■交通安全銅賞受賞会員

No.	事 業 者 名	No.	事 業 者 名
1	イノチオ物流株式会社	3	株式会社ヒラマツフード輸送
2	東海運輸株式会社	4	豊月運送株式会社

### ■無事故認定会員

No.	事 業 者 名	No.	事 業 者 名
1	有限会社 I S B	6	安東運送株式会社
2	あさひ物流株式会社	7	株式会社井口運輸
3	渥美陸運株式会社	8	株式会社犬塚運輸
4	株式会社アトラス陸運	9	伊良湖エクスプレス株式会社
5	荒木油送株式会社	10	ウカイ梱包運輸株式会社

■無事故認定会員 (前ページつづき)

No.	事業者名	No.	事業者名
11	有限会社恵比寿陸運	37	ティ・エム物流有限会社
12	有限会社オー・エイ	38	東海運送有限会社
13	株式会社大塚運輸	39	株式会社東海ロジテム
14	蒲郡運送株式会社	40	東海ワークス株式会社
15	河口運送有限会社	41	東江運輸株式会社 東海営業所
16	川口工運有限会社	42	東洋メビウス株式会社 豊橋支店
17	有限会社共栄産業	43	豊信総合サービス株式会社
18	有限会社黒田トラック	44	豊橋港陸運株式会社
19	光栄運輸株式会社	45	有限会社中村急送
20	株式会社コモリ	46	名倉運送株式会社
21	サーラ物流株式会社	47	名波陸送株式会社 田原営業所
22	有限会社サカエカーゴ	48	日本陸送株式会社 豊橋営業所
23	株式会社三栄建材	49	合資会社馬場運送店
24	三晃建材株式会社	50	株式会社東三河酪農協会
25	有限会社三洲運輸	51	有限会社彦坂興業
26	サンセツ運輸株式会社	52	株式会社マイシン
27	株式会社サンワネッツ 豊川営業所	53	有限会社前田運送
28	昭豊運輸株式会社	54	株式会社松下運輸
29	株式会社杉野商店	55	株式会社まるかわ運輸
30	清好運輸株式会社	56	有限会社丸勝運送
31	タカラ梱包輸送株式会社	57	丸助運送有限会社
32	宝物流サービス株式会社	58	丸玉運輸有限会社
33	中央輸送株式会社	59	三河重機興業株式会社
34	中部共栄運輸株式会社	60	株式会社森商
35	作手運輸株式会社	61	山三石油運輸株式会社
36	株式会社ツグリク	62	ランドアドバンス有限会社

交 総 発 第 2 4 0 2 号  
令 和 2 年 6 月 2 2 日

一般社団法人愛知県トラック協会  
会 長 寺 岡 洋 一 殿

愛知県警察本部  
交通部長 石 川 智



業務中における交通死亡事故の連続発生に伴う注意喚起について（依頼）

謹啓 梅雨の候 貴台におかれましては益々御清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃は、交通安全活動をはじめ、警察行政各般にわたり多大な御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、愛知県内の交通事故情勢については、昨日（6月21日）現在の事故死者数が76人（前年同期比+17人）と増加しており、全国順位も4月22日以降ワースト1位が続くなど、大変厳しい状況となっております。

特に今月に入り、事業用貨物自動車当事者となる交通死亡事故が2件続けて発生し、そのうちの1件は、歩道を自転車で通学中の生徒が被害者となる痛ましい交通事故です。

また、昨日までに事業用貨物自動車に関係した交通死亡事故12件のうち5件が第一当事者として関与した事故となっております。

新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言の解除が宣言されて1か月が経過し、社会経済活動が再開する中で、交通流の変化に伴う交通事故の多発が懸念されます。

貴台におかれましては、各トラック事業者を通じてドライバーに対する危機意識の醸成を図っていただくとともに、特に運転中において、

- 道路外の施設等に入出入りする際における、歩道又は路側帯を横切る直前での一時停止の励行
- 右左折時における歩行者・自転車利用者等の安全確認の徹底
- 雨天等、視界不良時における速度の抑制

等について指導を実施していただきますよう、お願い申し上げます。

おわりに、貴台をはじめ協会員の皆様方の益々の御発展と御健勝を心から祈念申し上げます。

敬白

# (公社) 全日本トラック協会

## ドライバー等安全教育訓練助成制度

のご案内



なんと最大で全額助成、  
**実質負担額 0 円**で研修が受講できます！  
※助成対象は宿泊での受講に限ります。

### 助成金額の一例

	初任ドライバー研修 <sup>(※2)</sup>	ドライバー基本研修	添乗指導者養成研修 <sup>(※2)</sup>
①通常価格	93,490円	59,650円	64,050円
②全ト協助成金額 <sup>(※3)</sup>	93,490円 (Gマーク無し: 65,490円)	59,650円 (Gマーク無し: 41,850円)	64,050円 (Gマーク無し: 44,850円)
実質負担額 【①-②の金額】	0円 <sup>(※1)</sup> (Gマーク無し: 28,000円)	0円 <sup>(※1)</sup> (Gマーク無し: 17,800円)	0円 <sup>(※1)</sup> (Gマーク無し: 19,200円)

※1 表記は実質負担金額です。受講時には通常料金のお支払いが発生します。申請完了後、定められた助成金額をお振込みいたします。

※2 大型車での受講金額。 ※3 Gマーク認定事業所は全額助成、それ以外は7割助成。

### ○助成対象、条件等

1. 全ト協が指定する研修を受講完了された方  
(上記の3研修が指定研修です。)
2. 愛ト協会員事業者であり、受講者が愛知県内の認可営業所等に所属する従業員である
3. 年度あたり1事業所2名まで

### ○実施・申請期間 (予算上限に達し次第終了)

令和2年4月1日～令和3年3月31日まで

### ○お問合せ先

一般社団法人愛知県トラック協会

研修部 研修課 TEL: 0561-36-1010

### ○申し込み時にご用意いただくもの

1. ドライバー等安全教育訓練助成申込書<sup>(※4)</sup>
2. ドライバー等安全教育訓練助成報告書<sup>(※4)</sup>
3. 研修参加報告書
4. Gマーク認定書 (取得事業者のみ)

### ○受講後にご用意いただくもの

5. 修了証の写し
  6. 受講費用を証明できる明細書類の写し
- 以上の書類を研修終了後7日以内に中部トラック総合研修センターまで郵送してください。

(FAX不可)

※4 様式類は愛ト協HPにて取得してください。



全ト協助成対象研修

※条件あり

# ドライバー 基本研修



令和2年 8月25日(火)

～8月27日(木)まで

講習時間：9時～17時まで(最終日は12時まで)

※9月以降も開催しております。詳細は協会HPにてご確認ください。

※宿泊 or 通いで受講が選べます。



こんな皆様にオススメの研修です!!

ドライバーの安全意識を向上させたいがノウハウもない、どうすれば……

各分野の専門講師が実践的な講義でスキルアップをサポートします!

実技研修は自社で行う予定だが、座学はどうすれば……

本研修は座学を重点的に実施していますので、様々なご要望にマッチします!



○募集定員 各回 24名

○料金(税込み)

【2泊3日 or 通い3日を選択】

愛ト協 会員	宿泊	41,500円
	通い	25,960円
会員外	宿泊	59,650円
	通い	44,110円

## 事業用ドライバーとしての安全意識向上

安全運行に必要な知識と判断力を養うことを目的とし、告示に定められた12項目(一般的な指導及び監督の指針)に沿った内容(※)で実施する座学中心のカリキュラムです。

※指針(4),(6),(7)は当研修では実施致しません。各社で実施、記録を残して下さい。



← 便利なネット申し込みをわかりやすく動画で解説!

各種講習・研修のお申し込みはWebから!

協会・研修情報などは  で検索

○お問い合わせ先○

一般社団法人 愛知県トラック協会 研修課  
TEL 0561-36-1010 / FAX 0561-36-1210

# 改善活動等



# リーダー養成研修

講義とグループディスカッションで  
集団の改善活動を支えるグループリーダーに!!



## ○小集団活動の進め方○

座学形式で基本的な小集団活動の進め方から見直し、改善への道順を明確にする方法を学びます。



## ○他社との共同作業と意見交換○

グループディスカッションを用いて、他社の方と意見交換・情報交換を行うので、今までにない新たな発想を生み出すチャンスです。



## ○演習を通じ改善活動を体験○

実際に課題をクリアしていくことで、改善活動への具体的なアプローチを模索します。

開催日時：(各1日研修)

令和2年 9月16日(水)

2月19日(金)

9:00~16:00まで

※当日は昼食をご用意しております。  
※筆記用具は各自でご用意ください。

○募集定員 各回 25名

○料金(税込み)

愛ト協会員	5,720円
会員外	10,670円



← 便利なネット申し込みをわかりやすく動画で解説!  
各種講習・研修のお申し込みはWebから!  
協会・研修情報などは [愛ト協](#) で検索

○お問い合わせ先○

一般社団法人 愛知県トラック協会 研修課  
TEL 0561-36-1010 / FAX 0561-36-1210

# コミュニケーション



体験型研修だからできる！  
コミュニケーション能力をフル活用した  
社内環境 & 業務効率の**改善！！**

こんなお悩みを感じている方、いませんか？



従業員間の意思疎通がうまくいっていない……

みんなの意見を取り入れたいが、うまくいかない……

みんなに明るく生き生きと働いてほしいが、どうしたら  
いいかわからない……

この研修がおすすめの理由！！

- コミュニケーションの本質を学ぶ  
**グループワーク主体で実践的に学び、体験できる！！**
- 「聴く」と「伝える」の向上を目指す  
**相手の「伝えたい」を理解して、自分の「伝えたい」を形作る！！**
- 自己理解と他者理解  
**己を知り他人を知ることで、円滑な人間関係のカギを探る！！**

○募集定員 各回 26 名

○料金(税込み)

愛ト協 会員	5,720 円
会員外	10,670 円

開催日時：(各 1 日研修)

令和 2 年 9 月 1 7 日 (木)

2 月 1 7 日 (水)

9 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0 まで

※当日は昼食をご用意しております。

※筆記用具は各自でご用意ください。

## 能力向上研修



← 便利なネット申し込みをわかりやすく動画で解説！

各種講習・研修のお申し込みはWebから！

協会・研修情報などは  で検索

○お問い合わせ先○

一般社団法人 愛知県トラック協会 研修課

TEL 0561-36-1010 / FAX 0561-36-1210

支部	開催日	場所	内容
第一	6月9日	西警察署	交通安全教育DVD寄贈及び県警本部長の感謝状授与式



第一 西警察署

## 新型コロナウイルスに係る予防・まん延防止の徹底について

国土交通省及び全ト協より新型コロナウイルスの予防・まん延防止の徹底について周知依頼がありました。会員の皆様におかれましても下記URLに記載の対策に従い、予防・まん延防止徹底にご協力下さいますようお願い申し上げます。

また、従業員に新型コロナウイルスの感染が確認された場合は、速やかに各運輸局に報告いただくようお願い致します。

◆首相官邸ホームページ『新型コロナウイルス感染症に備えて』

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>

## 【業務課からのお知らせ】

・愛知県内事故状況(2020年6月30日現在)

	【6月】			【年計】		
	件数	死者数	負傷者数	件数	死者数	負傷者数
発生数	2,014	8	2,397	11,992	76	14,267
前年比	-492	-1	-596	-3,425	16	-4,274
増減率(%)	-19.6	-11.1	-19.9	-22.2	26.7	-23.1

支部地域別死者数

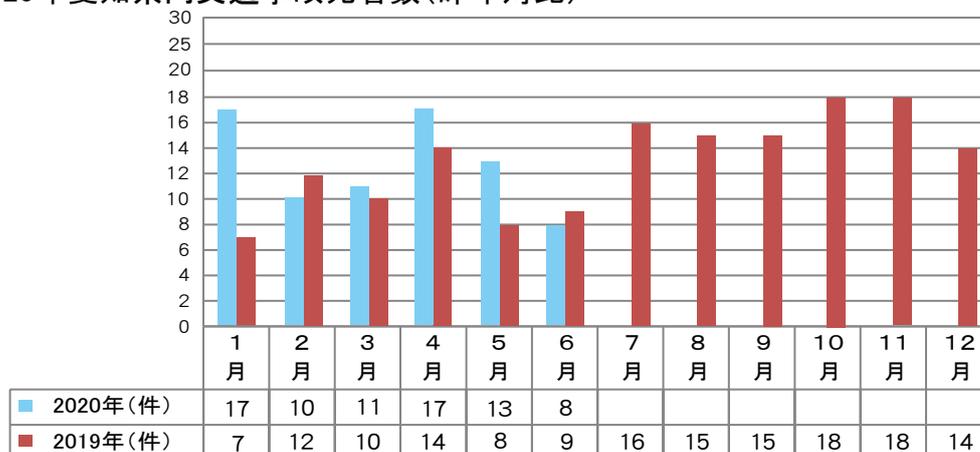
	【6月】									
	第一	第二	第三	第四	尾東	尾西	知多	西三	東三	高速
年計	8	4	3	3	7	13	10	19	8	1
前年比	5	-2	0	2	3	0	4	4	2	-2
支部月計	0	1	0	1	0	1	0	4	1	0

愛知県内事業用貨物自動車死亡事故発生数

	【6月】		【年計】	
	件数	死者数	件数	死者数
事業用	3	3	14	14
会員※	2	2	10	10
第一原因※	1	1	6	6

※事業用の内数。第一原因数は自己調査の進捗により、変更になる場合があります。

・2020年愛知県内交通事故死者数(昨年対比)



### ～ 助成金お申し込みの際の注意点～

#### ながらスマホ防止装置(安全装置)購入促進助成

本年度より、「ながらスマホ」防止支援装置の助成事業を実施しております。シガープラグ型の専用端末(有償)とスマートフォンアプリ(無償)により、運転中のスマートフォンの操作を制御するサービスです。ご興味のある会員様は是非ご検討下さい。

<https://www.ms-ins.com/business/car/safety/>

#### グリーン経営認証取得助成

本年度より申請受付期間が【上期】【下期】で分かれています。エコモ財団による審査予定日または審査日の該当期間内に事前申請をして下さい。申請期間外の申請は出来ません。

審査予定日または審査日が8月31日以前の場合は【上期】期間での事前申請のみ可能

【上期】令和2年5月8日(金)～令和2年8月31日(月)

審査予定日または審査日が9月1日以降の場合は【下期】期間での事前申請のみ可能

【下期】令和2年9月1日(火)～令和3年2月15日(月)

# 軽油価格調査

(愛ト協調へ)

6 月 末 調 査

## 単 純 集 計

(単位：円)

購入形態	ス タ ン ド			ロ ー リ ー			カ ー ド			合 計		
	最 高	平 均	最 低	最 高	平 均	最 低	最 高	平 均	最 低	最 高	平 均	最 低
価 格	95.00	83.50	70.40	85.00	72.40	65.30	99.00	85.10	71.40	99.00	78.20	65.30

## 月 間 購 入 量 別 集 計

月間購入量	ス タ ン ド			ロ ー リ ー			カ ー ド			合 計		
	最 高	平 均	最 低	最 高	平 均	最 低	最 高	平 均	最 低	最 高	平 均	最 低
30kℓ未満	95.00	84.90	70.40	65.70	65.70	65.70	99.00	85.10	71.40	99.00	83.60	65.70
30～50kℓ未満	82.50	78.80	75.00	78.00	72.00	65.30	94.70	94.70	94.70	94.70	76.50	65.30
50～100kℓ未満	85.10	85.10	85.10	85.00	73.90	69.50	87.00	87.00	87.00	87.00	76.10	69.50
100kℓ以上	79.00	79.00	79.00	75.30	71.50	66.80	73.40	73.40	73.40	79.00	72.80	66.80

## 支 払 期 限 別 集 計

支払期限	ス タ ン ド			ロ ー リ ー			カ ー ド			合 計		
	最 高	平 均	最 低	最 高	平 均	最 低	最 高	平 均	最 低	最 高	平 均	最 低
30日未満	95.00	82.30	70.40	85.00	72.60	65.30	99.00	85.20	71.40	99.00	78.60	65.30
30～60日未満	95.00	84.00	75.00	78.00	72.70	69.50	94.70	85.00	73.40	95.00	78.50	69.50
60日以上	—	—	—	75.00	71.40	66.80	82.00	82.00	82.00	82.00	73.50	66.80

※上記価格のうちには、購入先から未請求のため、調査時点で判明している価格をご回答頂いたものを含みます。  
なお消費税は含まれておりません。

# 軽油価格推移表

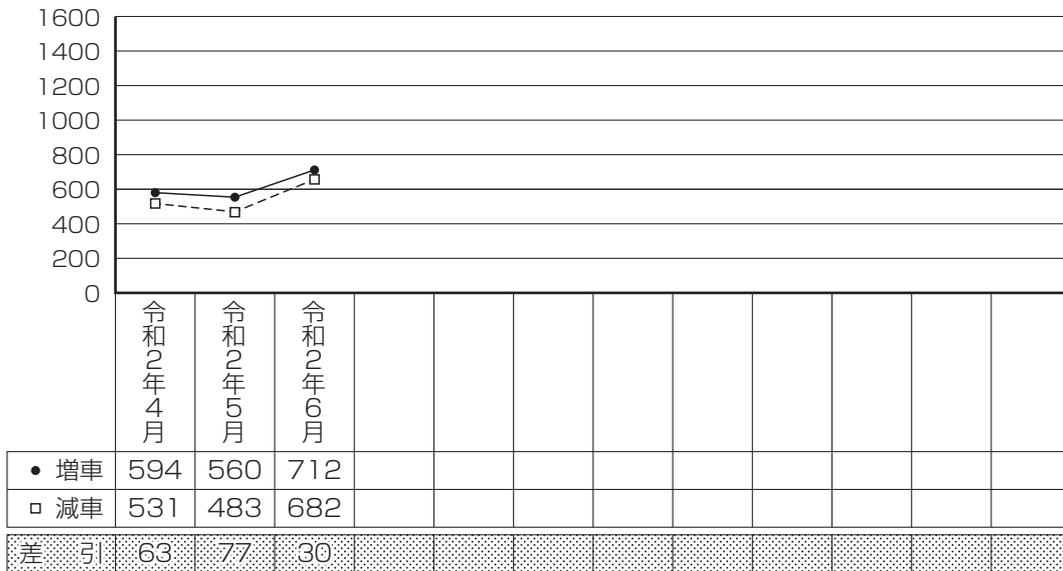
(単位：円)

購入形態 月 別	ス タ ン ド			ロ ー リ ー			カ ー ド		
	最 高	平 均	最 低	最 高	平 均	最 低	最 高	平 均	最 低
令和元年 6月	119.00	106.00	94.00	103.60	95.40	91.40	129.50	109.60	103.40
7月	119.00	104.90	94.50	101.00	95.30	92.70	124.50	106.60	99.50
8月	114.00	103.10	92.50	102.00	93.70	90.40	124.50	106.20	99.10
9月	114.00	103.80	94.00	99.00	93.30	90.80	122.00	104.00	94.70
10月	111.00	102.20	92.00	100.00	93.70	90.90	121.00	106.80	101.30
11月	116.00	103.00	96.00	101.00	94.60	90.00	121.50	105.60	100.00
12月	112.50	104.00	96.50	103.00	96.10	89.00	105.50	103.70	102.00
令和2年 1月	120.00	107.40	99.10	105.00	98.80	94.30	124.00	106.90	96.50
2月	120.00	104.70	96.50	106.00	93.70	89.30	127.00	110.80	103.00
3月	102.00	98.00	87.00	99.00	85.20	72.00	122.00	103.20	94.30
4月	116.00	88.50	74.90	89.00	71.90	65.20	114.00	93.60	81.20
5月	106.00	81.70	66.00	82.90	66.60	59.50	103.00	83.80	73.00
6月	95.00	83.50	70.40	85.00	72.40	65.30	99.00	85.10	71.40

# 一般貨物自動車が増減車動向について

資料提供：愛知運輸支局

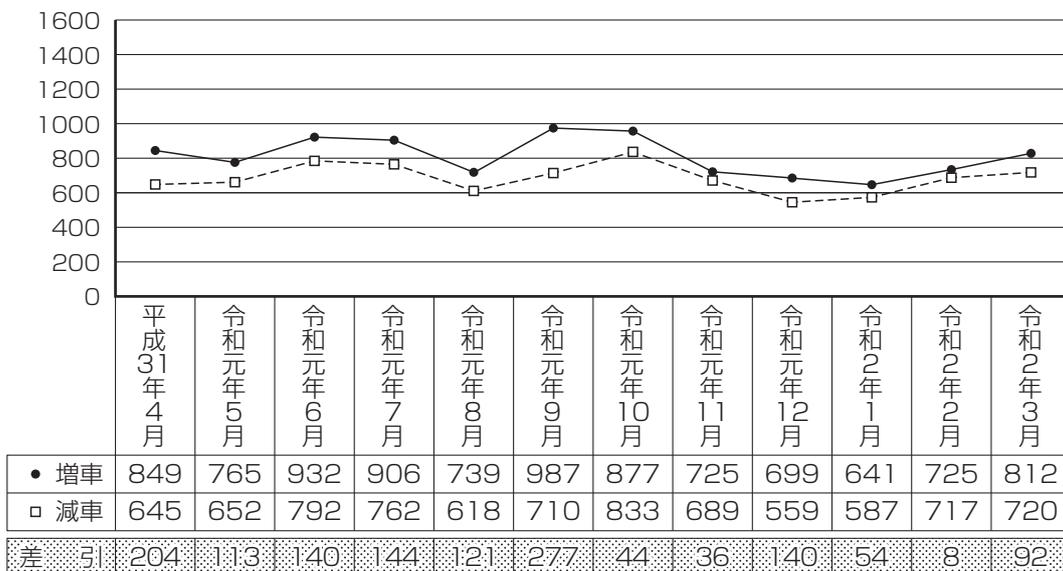
## 令和2年6月の増減車



### 令和2年度増減車（6月）

増 車	1,866両
減 車	1,696両
差 引	170両

## 平成31年4月～令和2年3月の増減車



### 令和元年度増減車（3月）

増 車	9,657両
減 車	8,284両
差 引	1,373両

委員	会
部	会

# 6月中の活動状況

## 海上コンテナ部会（山本部長）

### ○愛ト協海上コンテナ部会通常総会 書面会議 （山本部長）

月 日：令和2年6月5日（金）  
場 所：愛知県トラック会館  
〔今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面決議をとり、正副会長のみでの開催〕

### ○ONUTS委員会との打合せ（山本部長）

月 日：令和2年6月9日（火）  
場 所：名海運輸作業株 本社  
内 容：次期RFIDタグについて

### ○実務委員会三役会（服部実務委員長）

月 日：令和2年6月15日（月）  
場 所：名海運輸作業株 西二区配車センター  
内 容：各社状況報告、専門チーム進捗状況 等

### ○広報チーム 打合せ（中西チームリーダー）

月 日：令和2年6月16日（火）  
場 所：木材会館  
内 容：部会HPリニューアルについて

### ○実務委員会（服部実務委員長）

月 日：令和2年6月17日（水）  
場 所：木材会館  
内 容：パトロール 及び 会議  
議 題：1) ターミナルコンテナ取扱量の推移  
2) 海上コンテナ部会登録ID車両（令和2年3月）  
3) 専門チームの進捗について  
4) その他  
・今後の日程

### ○新規入会ヒアリング（山本部長）

月 日：令和2年6月17日（水）、18日（木）  
場 所：愛知県トラック会館  
内 容：入会審査等

### ○IDタグ委員会（山本部長）

月 日：令和2年6月22日（月）  
場 所：西部臨海地区内、木材会館  
内 容：パトロール 及び 会議  
議 題：1) 現行RFIDタグ保守料について  
2) 次期RFIDタグの進捗について

### ○名古屋港管理組合訪問（山本部長）

月 日：令和2年6月24日（水）  
場 所：名古屋港管理組合／名古屋港埠頭株式会社  
内 容：港湾用地使用料等の減額に関する要望

# 支部行事

7  
月

## 名古屋第一支部

- (14日) 名古屋第一支部 役員会
- (17日) 名西会 トラックパレード

## 名古屋第二支部

- (15日) 第2陸青会 第1回研修会

## 名古屋第三支部

- (10日) ゼロの日街頭活動
- (16日) 西4区パトロール
- (20日) 役員会
- (30日) ゼロの日街頭活動  
青年部会 全体会議

## 名古屋第四支部

- (14日) 中川会 交通安全啓発活動  
中村区街頭活動 Hot・ほっとキャンペーン
- (17日) 交通安全事故防止大会

## 尾東支部

- (3日) 支部青年部会 役員会
- (14日) 支部三役・理事会
- (15日) 小牧部会 一斉大監視活動

## 尾西支部

- (8日) 特別積合せ部会一宮ブロック 定例会
- (10日) 支部役員会
- (14日) 第三班 交通安全啓発活動
- (15日) 第一班 役員会/定例会/労働災害防止  
セミナー

## 知多支部

- (28日) 支部理事会

## 西三支部

- (13日) 西三支部 理事会
- (14日) 碧南部会 交通安全パレード
- (15日) 刈谷部会 役員会  
豊田部会 役員会・定例会・研修会

## 東三支部

- (11日) 新城南北設楽陸運協会 定例会
- (13日) 支部役員会
- (15日) 豊橋陸運協会 定例会
- (22日) 蒲郡陸運協会 定例会

☆**ご注意下さい**☆

**不正軽油は使用しないで下さい!**

# 青年部会

愛知県トラック協会 青年部会

## ○ 青年部会第23回通常総会を開催 ○



令和2年6月12日(金)、愛知県トラック会館にて、愛知県トラック協会青年部会第23回通常総会を開催しました。今回は新型コロナウイルスの影響により、書面による委任状及び議決権行使を最大限に活用した少数での開催となりました。

- ・ 第一号議案 令和元年度 事業活動報告
- ・ 第二号議案 令和元年度 収支決算報告
- ・ 第三号議案 令和2年度 事業計画案
- ・ 第四号議案 令和2年度 収支予算案

以上の議案が審議され、承認されました。

## ● 8月の活動予定 .....

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 11日(火) 第5回総務委員会 | 13日(木) 第3回研修委員会 |
| 12日(水) 第4回事業委員会 | 19日(水) 第5回理事会   |

## 青年部会 会員募集中!

### 青年部会とは?

愛知県トラック協会の会員事業者で、50歳以下の経営者、もしくはこれに準ずる方で構成されており、研修セミナーや各イベントを部会員自ら企画・実行することにより、自己研鑽を行っています。

また、部会員相互の情報交換、交流などを密に行うことにより、青年部会ならではのネットワークを形成し、事業に役立てています。



全日本トラック協会HPに青年部会ページができました  
[http://www.jta.or.jp/sub\\_index/seinen.html](http://www.jta.or.jp/sub_index/seinen.html)

全国、各県の青年部のお知らせが載りますので、是非ご覧ください。どなたでも閲覧可能です。

# 愛知県トラック協会 女性部会のご案内

## 【女性部会目的】

本会は女性経営者及びそれに準ずる者等が結集し、交流の輪を広げ、研鑽を重ねて資質の向上を図りながら協会活動に積極的に参画し、業界の社会的地位を高めることに寄与することを目的とする。

(会則第2条)

---

【部会員数】 37社 38名 (令和2年5月現在)

【代表者】 部会長 竹市 五倫 (稲沢運輸株式会社 代表取締役)

【会費】 年会費 12,000円

愛ト協女性部会では、各種セミナー、交流会、交通安全祈願、各種会議(総会・役員会)などを開催。

また、全日本トラック協会女性部会中部ブロック協議会(愛知県、静岡県、福井県)を設立し、他県女性組織との交流を深めるため、年1回ブロック研修会を開催しております。

## ～女性部会への入会を是非ご検討ください～

---

【問合わせ先】 愛知県トラック協会女性部会事務局

〒467-8555 名古屋市瑞穂区新開町 12-6

《TEL》052-825-5000 《Eメール》 ata-female@aitokyo.jp

# 陸 災 防

陸上貨物運送事業労働災害防止協会 愛知県支部



## 令和2年度の 熱中症予防行動

環境省  
厚生労働省  
令和2年5月

### 「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント

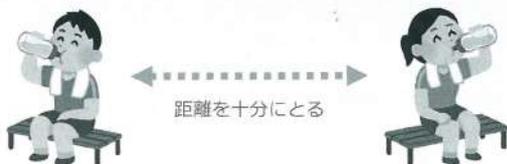
新型コロナウイルスの出現に伴い、感染防止の3つの基本である①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いや、「3密（密集、密接、密閉）」を避ける等の「新しい生活様式」が求められています。このような「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイントは以下のとおりです。

#### 1 暑さを避けましょう

- ・エアコンを利用する等、部屋の温度を調整
- ・感染症予防のため、換気扇や窓開放によって換気を確保しつつ、エアコンの温度設定をこまめに調整
- ・暑い日や時間帯は無理をしない
- ・涼しい服装にする
- ・急に暑くなった日等は特に注意する



#### 2 適宜マスクをはずしましょう



- ・気温・湿度の高い中でのマスク着用は要注意
- ・屋外で人と十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合には、マスクをはずす
- ・マスクを着用している時は、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で、適宜マスクをはずして休憩を

#### 3 こまめに水分補給しましょう



- ・のどが渇く前に水分補給
- ・1日あたり1.2リットルを目安に
- ・大量に汗をかいた時は塩分も忘れずに

#### 4 日頃から健康管理をしましょう



- ・日頃から体温測定、健康チェック
- ・体調が悪いと感じた時は、無理せず自宅で静養

#### 5 暑さに備えた体作りをしましょう



- ・暑くなり始めの時期から適度に運動を
- ・水分補給は忘れずに、無理のない範囲で
- ・「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で毎日30分程度

高齢者、子ども、障害者の方々は、熱中症になりやすいので十分に注意しましょう。3密（密集、密接、密閉）を避けつつ、周囲の方からも積極的な声かけをお願いします。



環境省



厚生労働省

新型コロナウイルス感染症に関する情報:

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)

熱中症に関する詳しい情報: <https://www.wbgt.env.go.jp/>





2019年度  
交通事故防止作品コンクール  
応募作品

標語 株式会社オーエストランス  
星野一臣 様  
児童画 星崎運輸株式会社  
岩井哉大さん(小学5年生)

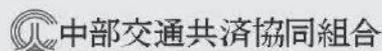
# あおってない? あなたの焦る気持ちと 車間距離



## 第42回 夏期における交通・労災事故防止運動

実施期間: 2020年7月1日(水) ▶ 8月31日(月)

■主催/中部交通共済協同組合 ■後援/愛知・福井・石川・富山・静岡・岐阜県トラック協会



お問い合わせ・お申し込みは、下記までお気軽にお電話ください。



詳細は、  
ホームページへ

中交協



www.chukokyo.jp



中交協は持続可能な開発目標 (SDGs)を支援しています。

名古屋第一事務所 TEL(052)715-5101 名古屋第二事務所 TEL(052)715-5102 豊橋事務所 TEL(0532)57-5188  
名古屋第三事務所 TEL(052)715-5103 名古屋第四事務所 TEL(052)715-5104 〒440-0886 豊橋市東小田原町48番  
セントラルレジデンス 202号

〒460-0026 名古屋市中区伊勢山二丁目5番21号



19000684

NGV

クリーンな排気ガス&石油代替エネルギー

エネルギー  
セキュリティに  
貢献

# 天然ガス自動車

は将来も安心してご利用いただけます。



大型天然ガストラック(車両総重量25t)

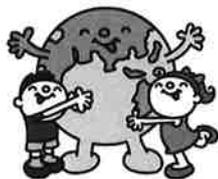


天然ガス小型バン

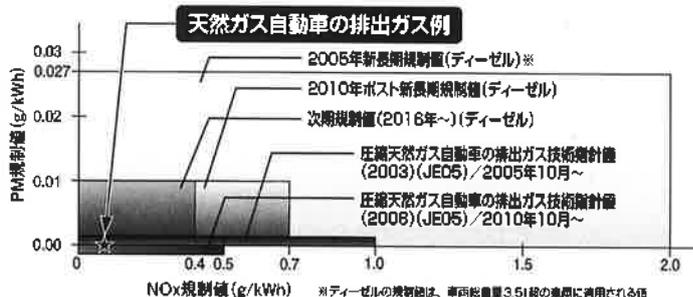


天然ガストラック

愛する地球の  
未来のために  
天然ガス自動車で走ろう!!



天然ガストラックはポスト新長期規制適合車です。  
粒子状物質(PM)排出は0(ゼロ)です。



重量車(車両総重量3.5t超~12t以下)のNOx・PM規制値との関係

天然ガス自動車はエネルギーの強靱化に貢献します!

エネルギーの約98%を石油に依存する運輸分門において、天然ガストラックの導入は、トラック輸送の安定化と大規模災害時のセキュリティに貢献します。

天然ガスは世界各地に分布するため安定供給が可能で、シェールガス開発により可採年数も約250年に増大し、石油代替エネルギーとして注目を集めています。



シェールガスの採掘イメージ

[お問い合わせ] 東邦ガス株式会社 都市エネルギー営業部 営業第一G(天然ガス自動車担当)  
〒456-8511 名古屋市熱田区桜田町19-18 TEL052-872-9356/FAX052-872-9766



TOHO GAS